大学等名	十文字学園女子大学
プログラム名	数理・データサイエンス・AI教育プログラム

	プロ	グラ』	ムを構	成する	授業科目について				
① 対象となる学部・学科名称	② 教	育プロ	グラム	ムの修了	要件 学部・学科に	こよって、修了要件に	は相違し	しない	
③ 修了要件		/							
総合科目「はじめてのデータサイエン									
入学生)で使用するeラーニングサー					earning.com) 全15回を代	見聴・各回で設けら	れてし	ハる傩	認テノ
トに回答する。15回のうち3回分は演 最終対面テストにおいて実施される					上いした人物レナス・か	** 冷羽無晦につ!	· 1+	+8 11 114	≥≥□ <i>1</i> =
より加点を行う。	<i>)</i>	で文映	し、世	合学00	黒以上を口俗とりる。 な	わ、	n, C 19	灰山小	(<i>1)</i> [1
より加点で刊り。									
必要最低単位数 2 単位			履何	多必須の	有無 令和7年	度までに履修必須と	する計	画	
④ 現在進行中の社会変化(第4次産業	革命、	Societ	y 5.0、	データ	駆動型社会等)に深く寄	与しているものでは	あり、	それが	自ら
の生活と密接に結びついている」の内容	字を含む	ン授業	科目						
授業科目	単位数		1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
総合科目「はじめてのデータサイエンス」		0	0	0					
はじめてのデータサイエンス	2	0	0	0					
⑤「社会で活用されているデータ」や	「デー	タの活	用領域	划 は非に	常に広範囲であって、日	常生活や社会の課題	題を解	決する	有用
なツールになり得るもの」の内容を含む	1		1				1		
授業科目 総合科目「はじめてのデータサイエンス」	単位数		1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
はじめてのデータサイエンス	2	0	0	0					
		0	0						
	»					>= #124 A = 1		<u> </u>	
⑥ 「様々なデータ利活用の現場における							サービ	ス、イ	ンフ
ラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み 授業科目				値を割り		○授業科目 単位数	心須	1-4	1-5
総合科目「はじめてのデータサイエンス」	2		()	0	1人未行口	丰世数	必須	1-4	1-3
はじめてのデータサイエンス	2	0	0	0					
⑦ 「活用に当たっての様々な留意事項	(EL CI	/⊞ J	非叔	データ	←細 ΛΙ¼◆原則等)	た 老 虚 は は お よ	t = 11	<u>ー</u>	小丰 把
						で考思し、旧報で	イユリ	111	目和
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	単位数		₃₋₁	73-2	3 む投来科日 授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
総合科目「はじめてのデータサイエンス」	2	0	0	0	22/2111	1.2		<u> </u>	Ī
はじめてのデータサイエンス	2	0	0	0					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、 扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
総合科目「はじめてのデータサイエンス」	2	0	0	0	0						
はじめてのデータサイエンス	2	0	0	0	0						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

10

授業に含まれている内容	字・要素	講義内容
(1) 現在進行中の社 会変化(第4次産業革 命、Society 5.0、デー タ駆動型社会等)に深 く寄与しているもので あり、それが自らの生	1-1	 ・ビックデータ、IoT、AI、ロボット(第1回) ・データ量の増加、計算機の処理性能の向上、AIの非連続的進化(第1回) ・第4次産業革命、Society5.0、データ駆動型社会(第2回) ・複数技術を組み合わせたAIサービス(第1回) ・人間の知的活動とAIの関係性(第1回)
活と密接に結びついて いる	1-6	・AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミーなど)(第7回) ・AI最新技術の活用例(敵対的生成ネットワーク、強化学習、転移学習など)(第8回)
れているデータ」や 「データの活用領域」 は非常に広範囲であっ て、日常生活や社会の 課題を解決する有用な ツールになり得るもの	1-2	・調査データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど(第3回) ・1次データ、2次データ、データのメタ化(第3回) ・構造化データ、非構造化データ(文章、画像/動画、音声/音楽など)(第3回) ・データ作成(ビッグデータとアノテーション)(第3回) ・データのオープン化(オープンデータ)(第3回)
	1-3	・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)(第4回) ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど(第4回) ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など(第4回)
(3)様々なデータ利活用の現場における データ利活用事例が示され、様々な適用領域 (流通、製造、金融、	1-4	・非構造化データ処理:言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など(第5回) ・特化型AIと汎用AI、今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ(第5回) ・認識技術、ルールベース、自動化技術(第5回)
サービス、インフラ、 公共、ヘルスケア等) の知見と組み合わせる ことで価値を創出する もの	1-5	・データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、探索的データ解析、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案)(第6回)・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介(第7回)

(4)活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	 ・ELSI (Ethical, Legal and Social Issues) (第13回) ・個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト(第13回) ・データ倫理:データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護(第13回) ・AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断) (第14回) ・データバイアス、アルゴリズムバイアス(第15回) ・データ・AI活用における負の事例紹介(第14回)
	3-2	・情報セキュリティ:機密性、完全性、可用性(第15回) ・匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取(第15回) ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介(第15回)
(5) 実データ・実課 題(学術データ等を む)を用いた演習な ど、社会で、「するな題 材として、明するな理・ データサーかなエン活用 は、ロッイエン活用 は、ロッイエン活用 は、ロッイエを は、ロッイを は、ロッと は、ロッと は、ロッと は、ロッと は、ロッと は、ロッと は、ロッと と は、ロっと と は、ロっと は と は と と と と と と と と と と と と と と と と	2-1	・データの種類(量的変数、質的変数)(第9回) ・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)(第9回) ・代表値の性質の違い(実社会では平均値=最頻値でないことが多い)(第9回) ・データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)(第9回) ・打ち切りや脱落を含むデータ、層別の必要なデータ(第9回、第10回) ・相関と因果(相関係数、擬似相関、交絡)(第10回) ・母集団と標本抽出(国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出)(第10回) ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列(第10回) ・統計情報の正しい理解(誇張表現に惑わされない)(第10回)
	2-2	・データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ)(第11回) ・データの図表表現(チャート化)(第11回) ・データの比較(条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト)(第11回) ・不適切なグラフ表現(チャートジャンク、不必要な視覚的要素)(第11回) ・優れた可視化事例の紹介(可視化することによって新たな気づきがあった事例など)(第11 回)
	2-3	 ・データの集計(和、平均) (第9回、第10回) ・データの並び替え、ランキング(第12回) ・データ解析ツール(スプレッドシート) (第9回~第12回) ・表形式のデータ(csv) (第3回)

⑪ プログラムの学修成果 (学生等が身に付けられる能力等)

- ・AI・データサイエンスの必要性を理解し、説明できるようになる
- ・社会で活用されているデータ・AI活用の事例について説明できるようになる
- ・どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、説明できるようになる
- ・データ・AIを扱う上での留意事項を説明できるようになる
- ・AI・データサイエンスについて自ら学び、活かす姿勢を身に付ける

科目名 クラス名	総合科目(はじめてのデータサ	総合科目(はじめてのデータサイエンス) 1Aクラス							
科目名(英語)	Interdepartmental Lecture : S	Interdepartmental Lecture : Special Topic							
担当教員名	安達 一寿、中村 健太郎	安達 一寿、中村 健太郎							
ナンバリング									
学科	心理学科1年/2020~2023年度 教育人文学部文芸文化学科芸術 教育人文学部文芸文化学科多文	2020~2023年度 大学 教育人文学部 幼児教育学科 1年/2020~2023年度 大学 教育人文学部 児童教育学科 1年/2020~2023年度 大学 教育人文学部 心理学科 1年/2020~2023年度 大学 人間生活学部 健康栄養学科 1年/2020~2023年度 大学 人間生活学部 食物栄養学科 1年/2020~2023年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 芸術・文化コース 1年/2020~2023年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 社福・介護コース 1年/2020~2023年度 大学教育人文学部 文芸文化学科 多文化・共生コース 1年/2020~2023年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 社福・保育コース 1年/2020~2023年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 日本語・日文コース 1年/2020~2023年度 大学 社情デザイン学部 社情デザイン学科 1年/2020~2023年度 大学 人間生活学部 食品開発学科 1年/2020~2023年度 大学 社情デザイン学部 社情デザイン学科 1年							
学年	1年	開講期	2024年度前期						
授業形態	講義	講義 単位数 2単位							
*原母类\A\10	オンデマンド形式	オンデマンド形式							
遠隔授業対象科目	3 2) 4 2 1 11/21/								

実務経験の有無	無
実務経験および科目との関連性	無

ねらい		
①科目の性格	本科目は、共通科目「総合」領域の選択科目であり、学外の企業、団体、有志などの協力を得て、社会の動向と追上げる話題について取り上げます。	車動するような課題や共通科目が取り
②科目の概要	「AI」や「ビックデータ」が、身の周りで利用され始めました。社会ではデータを収集・分析し、日常やビジネス学生のうちにAI・データサイエンスの知識・スキルを学び、デジタル社会の素養を身に付けておくことが求めらオサイエンスの基礎的な知識やスキルを適切に理解し、活用する力を習得し、就職活動やキャリアに活かすことをお	ıています。本科目では、AI・データ
③授業の方法(ALを含む)	・オンライン上でe-Learningを使って自ら学んでいく科目であり、各自が都合の良い時間に受講することができるフルオンデマンド型授業です。(教材サイト https://jumonji-elearning.com) ・所定の期間中、講義動画は何度でも視聴できるので、自分のペースで学習を進め、また各回の小テストや課題に取り組むことで理解を深めます。 ・「データリテラシー」の授業テーマでは、EXCEL等を用いた演習により理解を深めます。操作が難しい場合は、レポートに振替えます。 ・毎回のテーマ毎に用意されている確認テストで、知識の定着を図ります。 ・15回目終了後に最終テストを実施します。問題は確認テストより出題します。	その他(記述内容参照)/ICT
④到達目標	・AI・データサイエンスの必要性を理解し、説明できるようになる ・社会で活用されているデータ・AI活用の事例について説明できるようになる ・どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、説明できるようになる ・データ・AIを扱う上での留意事項を説明できるようになる ・AI・データサイエンスについて自ら学び、活かす姿勢を身に付ける	
⑤ディプロマ・ポリシーとの関係 (右の資質・能力を育成することを 目的とする)	NES③;就業観を養う力、NES⑤;課題発見能力、NES⑤;論理的思考力	

教科書	
推薦書・参考文献	

	e-Learning教材を活用し、全てオンライン上で学習するため、特定の授業時間はありません。そのため、自分のベース・空き時間でいつでも学習が可能です。
	ただし学修のペースをつくるために、毎回の授業の開始時期の目安は通常の授業の授業回と同様と考えてください。
	また、毎回の確認テストの実施ができる期間は、最終テストの前日までとします。
履修上の助言、教員からのメッセー	最終テストの問題は、毎回の確認テストから出題するので、よく復習しておくことが重要です。
ジ	
	授業内容の質問に関しては、UNIPAのQ&Aか学内メールで対応します。また、オリエンテーション期間中にZoomでオリエンテーションを行います。
	日程やミーティングID等は、UNIPAの授業資料に掲載するので、参照してください。

第1回		
事前学習	・シラパスの確認 ・e-Learning教材の実行準備(インターネット、Webアクセス)	90分
授業内容	〇社会におけるデータ・AI利活用 データサイエンスとは 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・オリエンテーション ・データサイエンスとは ・データサイエンスが重要視される背景 ・データ活用を支援するデジタル技術のキーワード	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分

第2回

024/09/07 10:37	十文字学園女子大学 総合ボータルシステム[2]	
授業内容	○社会におけるデータ・AI利活用 社会で起きている変化 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・日本企業の国際競争力低下 ・市場の大きな変化 ・デジタル技術の発展 ・デジタル社会の提言	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第3回		
授業内容	〇社会におけるデータ・AI利活用 社会で活用されているデータ 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・統計データ ・人の行動ログデータ ・機械の稼働ログデータ ・データの分類 ・オープンデータ	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第4回		
授業内容	〇社会におけるデータ・AI利活用 データ・AIの活用領域 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・AIの定義 ・AIの歴史 ・業種別のAI活用領域 ・人間に近づくAI	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第5回		
授業内容	〇社会におけるデータ・AI利活用 データ・AI利活用のための技術 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・データ・AI利活用技術の枠組み ・データ認識技術 ・AI技術 ・AIの課題、AIの難問 ・AIが社会にもたらす影響	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第6回		
授業内容	〇社会におけるデータ・AI利活用 データ活用とは 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・データの定義 ・データ活用のモデル ・データ分析のアプローチ ・データ分析においてより大きな価値を生む領域	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第7回		<u>'</u>
授業内容	○社会におけるデータ・AI利活用 データ・AI利活用の現場 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・製造業のデータ・AI活用 ・小売業のデータ・AI活用 ・サービス業のデータ・AI活用 ・公共・インフラ業のデータ・AI活用 ・データ・AI活用による新しいビジネス領域 ・まとめ	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第8回		
授業內容	○ 社会におけるデータ・AI利活用 データ・AI利活用の最新動向 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・データ・AIを活用した新しいビジネス ・データ・AIに関連した新技術 ・新ビジネスがなぜ小さな企業から生まれやすいのか ・本日の振り返り	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第9回	1	1
授業內容	 ○データリテラシー データを読む (1) 以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う ・データの種類 ・データの代表値①~計算的代表値~ ・演習: 相乗平均、調和平均 ・データの代表値② ~位置的代表値~ ・演習: データの代表値 ・ データのばらつき ・データのチェック ・本日の振り返り 	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う 演習ファイルを提出する (演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する)	180分

J24/03/07 TO.	<i>,</i>	「文子子園女丁八子 「松口小一ラルンへ」」[2]	
第10回			
授業内容		 ○データリテラシー データを読む(2) 以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う ・相関と因果① ・演習:相関関係 ・相関と因果② ・演習:アンスコムの例 ・母集団と抽出 ・統計情報の正しい理解 ・本日の振り返り 	
事後学習・次回事	事前学習	確認テストを行う 演習ファイルを提出する (演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する)	180分
第11回			
授業内容		 ○データリテラシー データを説明する以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う ・グラフをつくる ・データを比較するためのグラフ ・時間の推移を見せるためのグラフ ・データ相互の関係を示すためのグラフ ・データの偏りを示すためのグラフ ・演習: グラフをつくる ・データの比較 ・適切なグラフ表現 ・優れたデータ可視化事例 	
事後学習・次回事	事前学習	確認テストを行う 演習ファイルを提出する (演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する)	180分
第12回			
授業内容		 ○データリテラシー データを扱う 以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う・はじめに・演習1「売り上げを予測する」・演習2「顧客層を分析する」・演習3「顧客満足度を把握する」・演習4「顧客不満の要因を探る」 	
事後学習・次回事	事前学習	確認テストを行う 演習ファイルを提出する(演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する)	180分
第13回			
授業内容		○データ・AI利活用における留意事項 データ・AIを扱う上での留意事項(1) 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・「ELSI」とは何か ・データに関する不正行為 ・個人情報の保護 ・個人情報は誰が管理すべきか	
事後学習・次回事	事前学習	確認テストを行う	180分
第14回			
授業内容		○データ・AI利活用における留意事項 データ・AIを扱う上での留意事項 (2) 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・パイアスとは ・データ収集におけるパイアス ・データ・AIを扱う上でのパイアス ・AIの正しい活用に向けて	
事後学習・次回事	事前学習	確認テストを行う	180分
第15回			
授業内容		○データ・AI利活用における留意事項 データを守る上での留意事項とまとめ以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・情報セキュリティ ・従業員等による内部不正 ・コンピュータウイルスへの感染 ・サイバー攻撃 ・情報セキュリティ脅威事例 ・セキュリティ技術 ・まとめ:本講座におけるメッセージ	
事後学習		確認テストを行う 最終テストを行う	180分
フィードバック		・毎回の授業で実施する確認テストで、知識の修得状況を把握すること	
評価方法および評	平価の基準	到達目標に示したすべての項目について、最終テストで評価を行う。 ・最終テストの問題は、第1回から第15回までの確認テスト(合計 105間)の中から、ランダム形式で出題する 回答率60点以上を合格とする。 ・演習で行った内容(難しい場合は、振り返りレポート)については、提出状況により加点を行う。(最大10点)	。(100点満点)
ルーブリック			

評価基準

httne·//ii	ıın i	iumoni	i_II ac	in/u	nry/iii	n/ke/	/kean	เกԶ/ห	(sa00801	vhtml
1111103.//j	up.	juition	i-u.ac.	JP/ U	PI A/ U	J/ K3/	Noau	00/11	1340000 1	

十文字学園女子大学 総合ポータルシステム[2]

DP	評価項目	【S】到達目標以上に達 している	【A】到達目標を十分に 達成できている	【B】到達目標を達成で きている(到達目標)	【C】到達目標を最低限 度は達成できている	評価方法
就業観を養う力	キャリア形成における現 代社会の理解	AI・データサイエンスの 必要性を十分に理解し、 活用事例について説明で きる。	AI・データサイエンスの 必要性を理解し、活用事 例について説明できる。		AI・データサイエンスの 概念を理解できる。	テスト 100%
課題発見能力	データ・AIを扱う上での 課題	データ・AIを扱う上での 課題や留意事項を説明で き、その解決策が提案で きる。	データ・AIを扱う上での 留意事項を説明でき、そ の解決策が提案できる。		データ・AIを扱う上での 留意事項を説明できる。	テスト 100%
論理的思考力	データの取り扱い	どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、 説明できるとともに、データの操作ができる。	どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、 説明できる。	どのような思考方法でデータを扱うかを理解できる。	データを扱うことができ る。	テスト 100%

科目名 クラス名	総合科目(はじめてのデータサイ	総合科目(はじめてのデータサイエンス) 2Aクラス				
科目名(英語)	Interdepartmental Lecture : S	Special Topic				
担当教員名	安達 一寿、中村 健太郎	安達 一寿、中村 健太郎				
ナンバリング						
学科	心理学科1年/2020~2023年度 教育人文学部文芸文化学科芸術 教育人文学部文芸文化学科多文	2020~2023年度 大学 教育人文学部 幼児教育学科 1年/2020~2023年度 大学 教育人文学部 児童教育学科 1年/2020~2023年度 大学 教育人文学部 心理学科 1年/2020~2023年度 大学 人間生活学部 健康栄養学科 1年/2020~2023年度 大学 人間生活学部 食物栄養学科 1年/2020~2023年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 芸術・文化コース 1年/2020~2023年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 社福・介護コース 1年/2020~2023年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 多文化・共生コース 1年/2020~2023年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 社福・保育コース 1年/2020~2023年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 日本語・日文コース 1年/2020~2023年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 日本語・日文コース 1年/2020~2023年度 大学 人間生活学部 食品開発学科 1年/2020~2023年度 大学 社情デザイン学部 社情デザイン学科 1年				
学年	1年	開講期	2024年度後期			
授業形態	講義	単位数	2単位			
		オンデマンド形式				
遠隔授業対象科目	オンテマント形式					

実務経験の有無	無
実務経験および科目との関連性	無

ねらい				
①科目の性格	本科目は、共通科目「総合」領域の選択科目であり、学外の企業、団体、有志などの協力を得て、社会の動向と連動するような課題や共通科目が取り 上げる話題について取り上げます。			
②科目の概要	「AI」や「ビックデータ」が、身の周りで利用され始めました。社会ではデータを収集・分析し、日常やビジネスでの課題解決に活用しています。大学生のうちにAI・データサイエンスの知識・スキルを学び、デジタル社会の素養を身に付けておくことが求められています。本科目では、AI・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを適切に理解し、活用する力を習得し、就職活動やキャリアに活かすことをねらいとします。			
③授業の方法(ALを含む)	・オンライン上でe-Learningを使って自ら学んでいく科目であり、各自が都合の良い時間に受講することができるフルオンデマンド型授業です。(教材サイト https://jumonji-elearning.com) ・所定の期間中、講義動画は何度でも視聴できるので、自分のペースで学習を進め、また各回の小テストや課題に取り組むことで理解を深めます。 ・「データリテラシー」の授業テーマでは、EXCEL等を用いた演習により理解を深めます。操作が難しい場合は、レポートに振替えます。 ・毎回のテーマ毎に用意されている確認テストで、知識の定着を図ります。 ・15回目終了後に最終テストを実施します。問題は確認テストより出題します。	その他(記述内容参照)/ICT		
④到達目標	・AI・データサイエンスの必要性を理解し、説明できるようになる ・社会で活用されているデータ・AI活用の事例について説明できるようになる ・どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、説明できるようになる ・データ・AIを扱う上での留意事項を説明できるようになる ・AI・データサイエンスについて自ら学び、活かす姿勢を身に付ける			
⑤ディプロマ・ポリシーとの関係 (右の資質・能力を育成することを 目的とする)	NES③;就業観を養う力、NES⑤;課題発見能力、NES⑤;論理的思考力			

教科書	
推薦書・参考文献	

	e-Learning教材を活用し、全てオンライン上で学習するため、特定の授業時間はありません。そのため、自分のペース・空き時間でいつでも学習が可能です。 ただし学修のペースをつくるために、毎回の授業の開始時期の目安は通常の授業の授業の授業のと同様と考えてください。
履修上の助言、教員からのメッセー ジ	また、毎回の確認テストの実施ができる期間は、最終テストの前日までとします。 最終テストの問題は、毎回の確認テストから出題するので、よく復習しておくことが重要です。 授業内容の質問に関しては、学内メールで対応します。
	オリエンテーション期間中に、UNIPAの授業資料にガイダンスの動画を掲載するので履修方法等を確認してください。

第1回			
事前学習		・シラバスの確認 ・e-Learning教材の実行準備(インターネット、Webアクセス)	90分
授業内容		 ○社会におけるデータ・AI利活用 データサイエンスとは 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・オリエンテーション ・データサイエンスとは ・データサイエンスが重要視される背景 ・データ活用を支援するデジタル技術のキーワード 	
事後学習・次回事前学習		確認テストを行う	180分
第2回			

024/09/07 10:23	十文字学園女子大学 総合ポータルシステム[2]	
授業内容	○社会におけるデータ・AI利活用 社会で起きている変化 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・日本企業の国際競争力低下 ・市場の大きな変化 ・デジタル技術の発展 ・デジタル社会の提言	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第3回		
授業内容	○社会におけるデータ・AI利活用 社会で活用されているデータ 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・統計データ ・人の行動ログデータ ・機械の稼働ログデータ ・データの分類 ・オープンデータ	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第4回		
授業内容	○社会におけるデータ・AI利活用 データ・AIの活用領域 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・AIの定義 ・AIの歴史 ・業種別のAI活用領域 ・人間に近づくAI	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第5回		ı
授業内容	○社会におけるデータ・AI利活用 データ・AI利活用のための技術 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・データ・AI利活用技術の枠組み ・データ認識技術 ・AI技術 ・AIの課題、AIの難問 ・AIが社会にもたらす影響	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第6回		·
授業内容	○社会におけるデータ・AI利活用 データ活用とは 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・データの定義 ・データ活用のモデル ・データ分析のアプローチ ・データ分析においてより大きな価値を生む領域	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第7回		·
授業内容	○社会におけるデータ・AI利活用 データ・AI利活用の現場 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・製造業のデータ・AI活用 ・小売業のデータ・AI活用 ・サービス業のデータ・AI活用 ・公共・インフラ業のデータ・AI活用 ・データ・AI活用による新しいビジネス領域 ・まとめ	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第8回		ı
授業内容	○ 社会におけるデータ・AI利活用 データ・AI利活用の最新動向 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・データ・AIを活用した新しいビジネス ・データ・AIに関連した新技術 ・新ビジネスがなぜ小さな企業から生まれやすいのか ・本日の振り返り	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第9回	<u>'</u>	I
授業内容	○データリテラシー データを読む (1) 以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う ・データの種類 ・データの代表値① ~計算的代表値~ ・演習:相乗平均、調和平均 ・データの代表値② ~位置的代表値~ ・演習:データの代表値 ・データのばらつき ・演習:データのばらつき ・データのチェック ・本日の振り返り	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う 演習ファイルを提出する(演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する)	180分

024/09/07 10:2	3	十文字学園女子大学 総合ボータルシステム[2]	
第10回			
授業内容		 ○データリテラシー データを読む(2) 以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う・ ・相関と因果① ・演習:相関関係 ・相関と因果② ・演習:アンスコムの例 ・母集団と抽出 ・統計情報の正しい理解 ・本日の振り返り 	
事後学習・次回事前学習		確認テストを行う 演習ファイルを提出する(演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する)	180分
第11回			
授業内容		 ○データリテラシー データを説明する 以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う ・グラフをつくる ・データを比較するためのグラフ ・時間の推移を見せるためのグラフ ・データ相互の関係を示すためのグラフ ・データの偏りを示すためのグラフ ・ 演習: グラフをつくる ・ データの比較 ・ 適切なグラフ表現 ・ 優れたデータ可視化事例 	
事後学習・次回事	前学習	確認テストを行う 演習ファイルを提出する(演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する)	180分
第12回			
授業内容		 ○データリテラシー データを扱う 以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う・はじめに・演習1「売り上げを予測する」・演習2「顧客層を分析する」・演習3「顧客満足度を把握する」・演習4「顧客不満の要因を探る」 	
事後学習・次回事	前学習	確認テストを行う 演習ファイルを提出する(演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する)	180分
第13回			
授業内容		〇データ・AI利活用における留意事項 データ・AIを扱う上での留意事項(1) 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・「ELSI」とは何か ・データに関する不正行為 ・個人情報の保護 ・個人情報は誰が管理すべきか	
事後学習・次回事	—————— 前学習	確認テストを行う	180分
第14回			
授業内容		○データ・AI利活用における留意事項 データ・AIを扱う上での留意事項 (2) 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・バイアスとは ・データ収集におけるバイアス ・データ・AIを扱う上でのバイアス ・AIの正しい活用に向けて	
事後学習・次回事	前学習	確認テストを行う	180分
第15回			
授業内容		○データ・AI利活用における留意事項 データを守る上での留意事項とまとめ 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・情報セキュリティ ・従業員等による内部不正 ・コンピュータウイルスへの感染 ・サイバー攻撃 ・情報セキュリティ脅威事例 ・セキュリティ技術 ・まとめ:本講座におけるメッセージ	
事後学習		確認テストを行う 最終テストを行う	180分
フィードバック		・毎回の授業で実施する確認テストで、知識の修得状況を把握すること	
評価方法および評	価の基準	到達目標に示したすべての項目について、最終テスト及びレポートで評価を行う。 ・最終テストの問題は、第1回から第15回までの確認テスト(合計 105問)の中から、ランダム形式で出題する・レポート課題を行い、UNIPAより提出をする。(20点満点)・テストとレポートの合計で、回答率60%以上を合格とする。	。(100点満点)
ルーブリック			

評価基準

十文字学園女子大学 総合ポータルシステム[2]

評価項目	【S】到達目標以上に達 している	【A】到達目標を十分に 達成できている	【B】到達目標を達成で きている(到達目標)	【C】到達目標を最低限 度は達成できている	評価方法
· ·	AI・データサイエンスの 必要性を十分に理解し、 活用事例について説明で きる。	AI・データサイエンスの 必要性を理解し、活用事 例について説明できる。	AI・データサイエンスの 概念を理解し、活用事例 について説明できる。	AI・データサイエンスの 概念を理解できる。	テスト 100%
データ・AIを扱う上での 課題	データ・AIを扱う上での 課題や留意事項を説明で き、その解決策が提案で きる。			データ・AIを扱う上での 留意事項を説明できる。	テスト 100%
データの取り扱い	どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、 説明できるとともに、データの操作ができる。	どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、 説明できる。	どのような思考方法でデ ータを扱うかを理解でき る。	データを扱うことができ る。	テスト 100%
· 十	・ャリア形成における現 社会の理解 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	評価項目 している AI・データサイエンスの 必要性を十分に理解し、 活用事例について説明できる。 データ・AIを扱う上での 課題や留意事項を説明でき、その解決策が提案できる。 どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、 説明できるとともに、デ	さいの	評価項目	注

202 1/00/01 10:00),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
科目名 クラス名	はじめてのデータサイエンス	はじめてのデータサイエンス					
科目名(英語)							
担当教員名	安達 一寿、中村 健太郎	安達 一寿、中村 健太郎					
ナンバリング	NEf2032	NEf2032					
学科	度 大学 人間生活学部 人間福祉学 もコース 1年/2024年度 大学 人 育人文学部 文芸文化学科 多文化・	2024年度 大学 教育人文学部 幼児教育学科 1年/2024年度 大学 教育人文学部 児童教育学科 1年/2024年度 大学 教育人文学部 心理学科 1年/2024年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 介護コース 1年/2024年度 大学 人間生活学部 健康栄養学科 1年/2024年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 こどもコース 1年/2024年度 大学 人間生活学部 食物栄養学科 1年/2024年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 芸術・文化コース 1年/2024年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 芸術・文化コース 1年/2024年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 日本語・日文コース 1年/2024年度 大学 人間生活学部 食品開発学科 1年/2024年度 大学 社情デザイン学部 社情デザイン学科 1年/2024年度 大学 社情デザイン学部 社情デザイン学科 1年/2024年度 大学 社情デザイン学科 1年/2024年度 大学 社情デザイン学部 社情デザイン学科 1年/2024年度 大学 社情デザイン学科 1年/2024年度 大学 社情デザイン学部 社情デザイン学科 1年/2024年度 大学 社会学科 1年/2024年度 大学 1年/2024年度 大学 社会学科 1年/2024年度 大学 社会学科 1年/2024年度 大学 社会学科 1年/2024年度 大学 1年/2024年度 1年/					
学年	1年	開講期	2024年度後期				
授業形態	演習	単位数	2単位				
遠隔授業対象科目	オンデマンド形式	オンデマンド形式					
振替元科目							

実務経験の有無	無
実務経験および科目との関連性	無

ねらい					
①科目の性格	本科目は、共通科目のICT・データサイエンス領域に該当する必修科目である。				
②科目の概要	「AI」や「ビックデータ」が、身の周りで利用され始めました。社会ではデータを収集・分析し、日常やビジネス学生のうちにAI・データサイエンスの知識・スキルを学び、デジタル社会の素養を身に付けておくことが求めらオサイエンスの基礎的な知識やスキルを適切に理解し、活用する力を習得し、就職活動やキャリアに活かすことをお	にています。本科目では、AI・データ			
③授業の方法(ALを含む)	・オンライン上でe-Learningを使って自ら学んでいく科目であり、各自が都合の良い時間に受講することができるフルオンデマンド型授業です。(教材サイト https://jumonji-elearning.com) ・所定の期間中、講義動画は何度でも視聴できるので、自分のペースで学習を進め、また各回の小テストや課題に取り組むことで理解を深めます。 ・「データリテラシー」の授業テーマでは、EXCEL等を用いた演習により理解を深めます。操作が難しい場合は、レポートに振替えます。 ・毎回のテーマ毎に用意されている確認テストで、知識の定着を図ります。 ・15回目終了後に最終テストを実施します。問題は確認テストより出題します。	その他(記述内容参照)/ICT			
④到達目標	・AI・データサイエンスの必要性を理解し、説明できるようになる ・社会で活用されているデータ・AI活用の事例について説明できるようになる ・どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、説明できるようになる ・データ・AIを扱う上での留意事項を説明できるようになる ・AI・データサイエンスについて自ら学び、活かす姿勢を身に付ける				
⑤ディプロマ・ポリシーとの関係 (右の資質・能力を育成することを 目的とする)	【対課題-3】;社会的課題の析出・解決方策の検討・協働的、実践的解決				

教科書		
推薦書・参考文献		

e-Learning教材を活用し、全てオンライン上で学習するため、特定の授業時間はありません。そのため、自分のペース・空き時間でいつでも学習が可能です。
ただし学修のペースをつくるために、毎回の授業の開始時期の目安は通常の授業の授業回と同様と考えてください。
また、毎回の確認テストの実施ができる期間は、最終テストの前日までとします。
最終テストの問題は、毎回の確認テストから出題するので、よく復習しておくことが重要です。

授業内容の質問に関しては、学内メールで対応します。
オリエンテーション期間中に、UNIPAの授業資料にガイダンスの動画を掲載するので履修方法等を確認してください。

第1回			
事前学習		・シラバスの確認 ・e-Learning教材の実行準備(インターネット、Webアクセス)	90分
授業內容		〇社会におけるデータ・AI利活用 データサイエンスとは 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・オリエンテーション ・データサイエンスとは ・データサイエンスが重要視される背景 ・データ活用を支援するデジタル技術のキーワード	
事後学習・次回事前学習		確認テストを行う	180分
第2回			

024/09/07 15:39	十文字学園女子大学 総合ポータ	ルシステム[2]
	・デジタル技術の発展 ・デジタル社会の提言	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第3回		
授業内容	○社会におけるデータ・AI利活用 社会で活用されているデータ 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・統計データ ・人の行動ログデータ ・機械の稼働ログデータ ・データの分類 ・オーブンデータ	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第4回		
授業内容	〇社会におけるデータ・AI利活用 データ・AIの活用領域 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・AIの定義 ・AIの歴史 ・業種別のAI活用領域 ・人間に近づくAI	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第5回	<u>'</u>	'
授業内容	○社会におけるデータ・AI利活用 データ・AI利活用のための技術 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・データ・AI利活用技術の枠組み ・データ認識技術 ・AI技術 ・AIの課題、AIの難問 ・AIが社会にもたらす影響	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第6回		
授業内容	○社会におけるデータ・AI利活用 データ活用とは 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・データの定義 ・データ活用のモデル ・データ分析のアプローチ ・データ分析においてより大きな価値を生む領域	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第7回		·
授業内容	○社会におけるデータ・AI利活用 データ・AI利活用の現場 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・製造業のデータ・AI活用 ・小売業のデータ・AI活用 ・サービス業のデータ・AI活用 ・公共・インフラ業のデータ・AI活用 ・データ・AI活用による新しいビジネス領域 ・まとめ	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第8回		<u> </u>
授業内容	○ 社会におけるデータ・AI利活用 データ・AI利活用の最新動向 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・データ・AIを活用した新しいビジネス ・データ・AIに関連した新技術 ・新ビジネスがなぜ小さな企業から生まれやすいのか ・本日の振り返り	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第9回		
授業内容	○データリテラシー データを読む (1) 以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う ・データの種類 ・データの代表値① ~計算的代表値~ ・演習:相乗平均、調和平均 ・データの代表値② ~位置的代表値~ ・演習:データの代表値 ・データのばらつき ・演習:データのばらつき ・演習:データのありつき	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う 演習ファイルを提出する(演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する)	180分
第10回		
授業内容	○データリテラシー データを読む (2) 以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う	
	I and the second	

024/09/07 15:39	十文字学園女子大学 総合ポータルシステム[2]	
	 ・相関と因果① ・演習:相関関係 ・相関と因果② ・演習:アンスコムの例 ・母集団と抽出 ・統計情報の正しい理解 ・本日の振り返り 	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う 演習ファイルを提出する(演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する)	180分
第11回		
授業内容	 ○データリテラシー データを説明する 以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う ・グラフをつくる ・データを比較するためのグラフ ・時間の推移を見せるためのグラフ ・データ相互の関係を示すためのグラフ ・データの偏りを示すためのグラフ ・演習:グラフをつくる ・データの比較 ・適切なグラフ表現 ・優れたデータ可視化事例 	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う 演習ファイルを提出する(演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する)	180分
第12回		
授業内容	〇データリテラシー データを扱う 以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う ・はじめに ・演習1「売り上げを予測する」 ・演習2「顧客層を分析する」 ・演習3「顧客満足度を把握する」 ・演習4「顧客不満の要因を探る」	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う 演習ファイルを提出する(演習が難しい場合は、振り返りレポートを提出する)	180分
第13回		
授業内容	○データ・AI利活用における留意事項 データ・AIを扱う上での留意事項 (1) 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・「ELSI」とは何か ・データに関する不正行為 ・個人情報の保護 ・個人情報は誰が管理すべきか	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第14回		<u>'</u>
授業内容	○データ・AI利活用における留意事項 データ・AIを扱う上での留意事項 (2) 以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・パイアスとは ・データ収集におけるパイアス ・データ・AIを扱う上でのパイアス ・AIの正しい活用に向けて	
事後学習・次回事前学習	確認テストを行う	180分
第15回		
授業内容	○データ・AI利活用における留意事項 データを守る上での留意事項とまとめ以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・情報セキュリティ ・従業員等による内部不正 ・コンピュータウイルスへの感染 ・サイバー攻撃 ・情報セキュリティ脅威事例 ・セキュリティ技術 ・まとめ:本講座におけるメッセージ	
事後学習	確認テストを行う 最終テストを行う	180分
フィードバック	・毎回の授業で実施する確認テストで、知識の修得状況を把握すること	
	到達目標に示したすべての項目について、最終テスト及びレポートで評価を行う。	

フィードバック	・毎回の授業で実施する確認テストで、知識の修得状況を把握すること	
評価方法および評価の基準	到達目標に示したすべての項目について、最終テスト及びレポートで評価を行う。 ・最終テストの問題は、第1回から第15回までの確認テスト(合計 105問)の中から、ランダム形式で出題する。(100点満点) ・レポート課題を行い、UNIPAより提出をする。(20点満点) ・テストとレポートの合計で、回答率60%以上を合格とする。	

ルーブリ	ック	

			•				
DP	評価項目	【S】到達目標以上に達 している	【A】到達目標を十分に 達成できている	【B】到達目標を達成で きている(到達目標)	【C】到達目標を最低限 度は達成できている	評価方法	

十文字学園女子大学 総合ポータルシステム[2]

実践的解決	キャリア形成における現 代社会の理解	AI・データサイエンスの 必要性を十分に理解し、 活用事例について説明で きる。	AI・データサイエンスの 必要性を理解し、活用事 例について説明できる。		AI・データサイエンスの 概念を理解できる。	テスト 100%
社会的課題の析出	データ・AIを扱う上での 課題	データ・AIを扱う上での 課題や留意事項を説明で き、その解決策が提案で きる。	データ・AIを扱う上での 留意事項を説明でき、そ の解決策が提案できる。		データ・AIを扱う上での 留意事項を説明できる。	テスト 100%
解決方策の検討	データの取り扱い	どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、 説明できるとともに、データの操作ができる。	どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、 説明できる。	どのような思考方法でデータを扱うかを理解できる。	データを扱うことができ る。	テスト 100%



共通科目 教育課程

〈全学部全学科共通〉[2023年度生]

				生活 部	教育学		社会 デザイ		
	授業科目区分	必要な単位数	必修	選択必修	必修	選択必修	必修	選択必修	条件
	ゼミナール		3	0	3	0	3	0	「入門ゼミナール」1科目2単位必修 「コミュニケーション演習」1科目1単位必修
	総合		2	0	2	0	0	0	人間生活学部は「地域と人間生活」1科目2単位必修 教育人文学部は「人間理解ワークショップ」1科目2単位必修
井	女性を生きる	• 00# (±1/1 1	0	2	0	2	0	2	指定の科目(*1)から1科目2単位以上を選択必修
	社会に生きる	●22単位以上	0	2	0	2	0	2	指定の科目(*2)から1科目2単位以上を選択必修
通科	保健体育	• 必修 8 単位 • 選択必修 6 単位	0	1	0	1	0	1	1 科目 1 単位以上を選択必修 (なお、「身体運動 I 」を履修することが望ましい。)
17-7	情報処理	• 選択科目 8 単位以上	1	0	1	0	1	0	「情報処理演習Ⅰ」↑科目↑単位必修
目	外国語(基礎科目)	を履修すること	0	1	0	1	0	1	1科目1単位以上を選択必修
	外国語目的別科目		0	0	0	0	2	0	社会情報デザイン学部は「英語コミュニケーション応用」 1科目2単位必修
	日本語(非母語者向)								日本語を母国語としない者のみ履修可
	キャリア教育		2	0	2	0	2	0	「キャリアデザイン入門」 1 科目 2 単位必修

▶ 学年別配当欄の前・後期に ○ があるものはそれぞれの学年配当のいずれかを履修すればよい。

			単位	立数	授			学	年月	川配当	当			
		授業科目	必	選	業	1	年	2	年	3	年	4	年	備考
		,	修	択	形態	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	Will 3
		入門ゼミナール	2		講義	0								
	ゼミナ	コミュニケーション演習	1		演習	0	0							
	7	読書入門ゼミナール		2	演習		0		0		0		0	
	ル	課題解決ゼミナール		2	演習			0	0	0	0			
		総合ゼミナール		2	演習					0	0	0	0	
		地域で学ぶ		2	講義	0	0	0	0	0	0	0	0	
		地域と人間生活	*1 2	*2 2	講義			0	0	0	0	0	0	※ 1 ···人間生活学部※ 2 ···教育人文学部社会情報デザイン学部
	総	人間関係とコミュニケーション		2	講義		0		0		0		0	
共通	合	人間理解ワークショップ	*3 2	*4 2	講義			0	0	0	0	0	0	※3…教育人文学部※4…人間生活学部 社会情報デザイン学部
科		総合科目		2	講義	0	0	0	0	0	0	0	0	
		自主社会活動 ※①		1	演習	0	0	0	0	0	0	0	0	繰り返し受講可
目		キャリアデザインとライフプラン*1		2	講義	0	0							
		リーガルリテラシー * 1		2	講義	0	0							 *1の5科目から1科目
		ジェンダーリテラシー * 1		2	講義	0	0							} 2 単位以上を履修する
	女	子育てと環境 * 1		2	講義	0	0							こと
	性を	女性と健康 *1		2	講義	0	0							J
	女性を生きる	女性の心と身体		2	講義	0	0	0	0	0	0			保育士資格取得希望者及び管理栄養 士国家試験受験資格取得希望者は、 「女性の心と身体」を履修すること
		食の科学		2	講義			0	0	0	0			
		歴史のなかの女性		2	講義			0	0	0	0			
		芸術を読みとる		2	講義			0	0	0	0			

註:※①印の「自主社会活動」の単位取得方法についての詳細は、P.52を参照してください。

[共通科目]

▶ 学年別配当欄の前・後期に ○ があるものはそれぞれの学年配当のいずれかを履修すればよい。

				単位	立数	授			<u> </u>	学年月	別配針	 当			
		授業科目		必	選	業	1	年	2	年	3	年	4	年	備考
		IX X 14 L		修	択	形態	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	כי מוע
		グローバル社会	* 2		2	講義	0	0	241	241	241	247	243	243)
		ネットワーク社会	* 2		2	講義	-	0							
		共生社会入門	* 2		2	講義	-	0							* 2の5科目から1科目 2単位以上を履修する
	ネ┼	多様性と倫理	* 2		2	講義	_	0							25
	左	持続可能な社会	* 2		2	講義	0	0							
	社会に生きる	くらしのなかの日本国憲法			2	講義	0	0	0	0	0	0			教員免許取得希望者は、「く らしのなかの日本国憲法」を 履修すること
		ボランティア論			2	講義	0	0	0	0	0	0			
		災害と社会			2	講義			0	0	0	0			
		21世紀型の教育			2	講義			0	0	0	0			
	保健体育	身体運動Ⅰ			1	実技	0		0		0		0		1科目1単位履修(「身体運動I」を履修することが望ましい。 数員免許取得希望者及び保育
	育	身体運動Ⅱ			1	実技		0		0		0		0	士資格取得希望者は2科目2 単位を履修すること 「身体運動II」は、繰り返し 受講可(ただし条件あり)
	情報処理	情報処理演習 I		1		演習	0								 教員免許取得希望者は、2科目
	理	情報処理演習Ⅱ			1	演習		0		0		0		0	2単位を履修すること
		英語 I a			1	演習	0								12科目から1科目1単位以上を
		英語 I b			1	演習		0							履修すること ただし、日本語を母語としない者
共		英語Ⅱa			1	演習			0		0		0		は、「総合日本語 I a」「総合日本
通		英語Ⅱb			1	演習				0		0		0	┤ 語 [b] を履修すること。 │ │
	外国語	中国語Ia			1	演習	0								教員免許取得希望者及び保育士資 格取得希望者は、以下のいずれか
科	語	中国語 I b			1	演習		0							の科目2科目2単位を履修するこ
目	基	中国語IIa			1	演習			0		0		0		
	(基礎科目)	中国語IIb			1	演習				0		0		0	2 科目 2 単位
	旦	朝鮮語Ia			1	演習									・「中国語 I a」と「中国語 I b」 の2科目2単位
		朝鮮語 I b			1	演習		0							│ ·「朝鮮語Ⅰa」と「朝鮮語Ⅰb」 │ の2科目2単位
		フランス語 I a			1	演習	_								・「フランス語 I a」と「フラン
		フランス語 [b			1	演習		0							J ス語 I b J の 2 科目 2 単位
		海外語学研修			1	実習	0		0		0		0		
		英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b			1	演習			0	0	0	0	0	0	
		英語コミュニケーション発展a			1	演習					0		0	-	
		英語コミュニケーション発展b			1	演習						0		0	
	外	英語コミュニケーション応用		*5 2	*6 2	演習		0		0		0		0	** 5 ···社会情報デザイン学部 ** 6 ···人間生活学部 教育人文学部
	国	アドバンスト・リスニング			2	講義		0		0		0		0	
	買	アドバンスト・リーディング			2	講義	0	0	0	0	0	0	0	0	
	別別	アドバンスト・ライティング			2	講義	0	0	0	0	0	0	0	0	
	外国語目的別科目	ビジネス英語			2	講義				0		0		0	
	П	映画・ドラマ英語			2	講義			0	0	0	0	0	0	
		インターネット英語			2	講義				0		0		0	
		メディア英語			2	講義			0		0		0		
		TOEIC対策講座			2	講義	0	0	0	0	0	0	0	0	
		中国語試験対策講座			2	講義	_	0	0	0	0	0	0	0	
		日本語検定対策講座			2	講義	0	0	0	0	0	0	0	0	

[共通科目]

▶ 学年別配当欄の前・後期に ○ があるものはそれぞれの学年配当のいずれかを履修すればよい。

			単位	立数	授			当	2年5	別配計	 当			
		授 業 科 目	必	選	業	1	年	2	年	3	年	4	年	備考
			修	択	形態	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	J
		総合日本語 I a		1	演習	0								
		総合日本語 I b		1	演習		0							
		総合日本語Ⅱ a		1	演習			0						
		総合日本語 II b		1	演習				0					
		総合日本語Ⅲ a		1	演習					0		0		日本語を母語としない者は 「総合日本語 I a」「総合日
		総合日本語Ⅲ b		1	演習						0		0	本語 I b」を履修し単位を
		日本語表現技術 I		1	演習	0		0		0		0		修得すれば、外国語(基礎
	日本語	日本語表現技術Ⅱ		1	演習		0		0		0		0	科目)の単位として認定する。
		日本語表現技術Ⅲ		1	演習	0		0		0		0		る。 ただし、JLPTN 1 を取得
	非	日本語表現技術Ⅳ		1	演習		0		0		0		0	している(なければ模擬
	語	日本語研究A(時事I)		1	演習	0		0		0		0		試験で測定)、かつ、教員
	(非母語者向)	日本語研究B(時事Ⅱ)		1	演習		0		0		0		0	が実施する課題をもって 話す能力と書く能力が
共		日本語研究C(ビジネスI)		1	演習	0		0		0		0		CEFRのC2レベルであ
通		日本語研究D(ビジネスⅡ)		1	演習		0		0		0		0	ると判断された者は、他
科		日本語研究E(医療·福祉専門)		1	演習	0		0		0		0		の外国語を選択すること ができる。
		日本語研究F(人文科学)		1	演習		0		0		0		0	13.00%
		日本語能力試験対策講座 I		1	演習	0		0		0		0		
		日本語能力試験対策講座Ⅱ		1	演習		0		0		0		0	
		日本語集中講座(編入)		1	演習	0		0		0		0		J
		キャリアデザイン入門	2		講義			0	0					
		キャリアロールモデル研究		2	講義			0						
		企業に学ぶキャリアデザイン		2	講義			0						
	キャ	プロアクティブ人材育成		2	講義				0					
	リア	キャリアサポート演習		2	演習)			
	教育	キャリア基礎力 I		2	講義			0		0				
	П	キャリア基礎力Ⅱ		2	講義				0		0			
		インターンシップ短期		1	実習	0	0	0	0	0	0	繰り返し受講可	繰り返し受講可	
		インターンシップ長期		2	実習	0	0	0	0	0	0			繰り返し受講可

カリキュラムマップでは、各学科の学生が、卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、 各授業科目の関連性などがわかるようになっています。

カリキュラムの授業科目間のつながりや年次進行などがわかりますので、履修上の参考にしてください。

共通科目 カリキュラムマップ

→ 必修科目

領域	学生が身に付けるべき資質・能力	1年次	2 年次	3 年次	4 年次
ゼミナール	・大学の学修で必要となる学びの方法(スタディーズスキル)を身につける。 ・人や文化などの多様性を理解し、課題を発見・分析する力をつける。 ・価値観や考え方の違いを乗り越えた関係を築きながら、課題を解決するスキ ルを身につける。	入門ゼミナール コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール	課題解決ゼミナール		
総合	・地域社会の一員として地域と、そこで生きる人間への理解を深める。 ・地域的課題への問題意識や人間理解の意識をもち、個々の事象を複数の視点 から捉えることができる。	地域で学ぶ 人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動		総合ゼミナール	A (+++ = 1 F / L W + H L WELT)
	・人々と関わり、積極的に参画する態度や技能を身につける。	キャリアデザインとライフプラン リーガルリテラシー ジェンダーリテラシー	地域と人間生活(※人間生活 人間理解ワークショップ(※) ~ 5 科目から 1 科目選択必修	学部のみ必修。教育人文学部と社 教育人文学部のみ必修。人間生活学語	会情報デザイン学部は選択。)
女性を生きる	 ・社会における女性の立場について、現状を冷静に理解し把握する。 ・これからの社会において女性の役割や生き方、あり方について、考えられる課題を解決していく力をつける。 ・文章を読んで、意味や記述者の意図を理解することができる。 	子育てと環境 女性と健康 女性の心と身体	食の科学 歴史のなかの女性 芸術を読みとる		
社会に生きる	 ・異なる価値観を理解し、これからの社会に生きる力をつける。 ・現代的課題への問題意識をもとに多様な視点から未来をデザインする力をつける。 ・文章を読んで、意味や記述者の意図を理解することができる。 	グローバル社会 ネットワーク社会 共生社会入門 多様性と倫理 持続可能な社会 くらしのなかの日本国憲法 ボランティア論	> 5科目から1科目選択必修		
8			災害と社会 21世紀型の教育		
保健 体育	・心身の健康を保持増進する手段を学び、運動により人生を豊かにする力をつ ける。	身体運動 I 身体運動 II			
情報 処理	・コンピューターや電子機器を活用し、自らの学修に活用することができる。・図表等を用いた表現など状況にあった活用を行うことができる。	情報処理演習 I 情報処理演習 II			
外国語(基礎科目)	・選択した言語の基本的な構造や語彙を理解し、実際に使用することができる。 ・自国以外の人間と互いに意思の疎通を図ることができる。	英語 I a 英語 I b 中国語 I a 中国語 I b 朝鮮語 I a ブランス語 I a ブランス語 I b 海外語学研修	英語II a 英語II b 中国語II a 中国語II b		

英語コミュニケーション応用(※社会情報デザイン学部のみ必修。人間生活学部と教育人文学部は選択。) アドバンスト・リスニング アドバンスト・リーディング TOEIC対策講座 中国語試験の対策講座 日本語検定対策講座 アドバンスト・ライティング 語目的別科目 ・選択した言語の基本的な構造や語彙を理解し、実際に使用することができる。 英語コミュニケーション基礎 a 英語コミュニケーション基礎 b ビジネス英語 ・自国以外の人間と互いに意思の疎通を図ることができる。 映画・ドラマ英語 インターネット英語 メディア英語 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b 総合日本語Ia 総合日本語Ib 日本語表現技術 日本語表現技術Ⅱ 日本語 日本語表現技術Ⅲ 日本語表現技術N 日本語研究A(時事I) 日本語研究B(時事I) 日本語研究C(ビジネスI) 日本語研究C(ビジネスI) 自国以外の人間と互いに意思の疎通を図ることができる。 ・ 文章を読んで、意味や記述者の意図を理解することができる。・ わかりやすい文章を書くことができる。レポート、論文、発表の資料などわ (非母語者向) かり易くまとめることができる。 図表等を用いた表現など状況にあった活用を行うことができる。 日本語研究E(医療·福祉専門) 日本語研究F(人文科学) 論理的に考えたことを、(文章や口頭および視覚的に)的確に相手に伝える ことができる。 日本語能力試験対策講座 日本語能力試験対策講座Ⅱ 日本語集中講座(編入) 総合日本語Ⅲ a 総合日本語Ⅱ a 総合日本語 II b 総合日本語II b インターンシップ短期 インターンシップ長期 キャリ キャリアデザイン入門 ・生涯を通じて自己成長を図ろうとする意欲と態度を身に付ける。
・社会で働くことに対する視野を形成し、職業人として自立するための能力と 意欲を身に付ける。さらに、就業に必要な基礎的能力を修得する。
・大学における学修と大学生活の意義を有効に活用するための資質や態度を身 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成 に付け、将来の転機に向けて必要なキャリア設計をすることができる。 キャリア基礎力 I キャリア基礎力Ⅱ キャリアサポート演習

・自分や周囲の役割を理解し、互いに連携・協力して物事を行うことができる。 ・自分の気持ちを認識し、客観的に自分の言動をコントロールすることができる。 ・他者と自己の違いを認め、自己の強みを認識することができる。 ・論理的に考えたことを、(文章や口頭および視覚的に) 的確に相手に伝えることができる。 ・自分と異なる立場や意見でも、共感し、受け入れることができる。 ・どんな相手に対しても、相手に合わせて、自分の考えを述べることができる。 ・ゴールイメージを明確にし、目標を立てることができる。 ・自ら物事にとりかかり、実行に移すことができる。

本学の共通・教養教育を展開する共通科目においては,大学ディプロマ・ポリシーにあげた資質・能力等を身につけさせるため,次の基本方針に基づいた編成を行う。
1. 基礎的な学修能力を養い,心身の充実を図りつつ、自立した女性として、問題を探究する力を身につけさせる
2. 体系的・学際的な学修により培われた知識・技能・教養を女性の視点から地域や社会の中で生かす能力と態度を身につけさせる
3. 社会生活に必要となる知的・社会的コンピテンスを身につけるとともに、多様な人々の立場や意見を尊重しつつ、女性としての誇りをもち、よりよい社会の発展と文化の向上に貢献する姿勢を身につけさせる
これらの方針をもとに、共通科目課程には、10の科目区分、「ゼミナール」「総合」「女性を生きる」「社会に生きる」「保健体育」「情報処理」「外国語(基礎科目)」「外国語目的別科目」「日本語(非母語者向)」
「キャリア教育」を設け、各科目区分の学修課程に応じた科目を配置する。

CP

人間生活学部

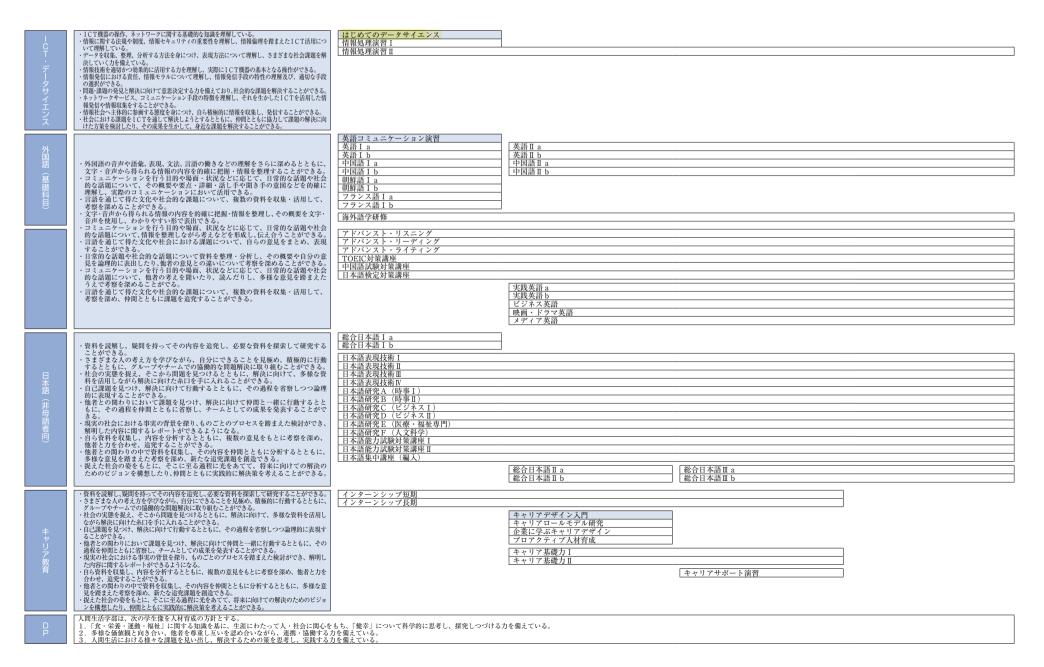
カリキュラムマップでは、各学科の学生が、卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の関連性などがわかるよ うになっています。

カリキュラムの授業科目間のつながりや年次進行などがわかりますので、履修上の参考にしてください。

共通科目 カリキュラムマップ

→ 必修科目

領域	学生が身につけるべき資質・能力	1 年次	2年次	3年次	4年次
ゼミナール	・文章や資料の意味や意図を理解するとともに、自分の考えを文章や図表などを活用してわかりやすく他者に伝えることができる。 他者の意見に耳を傾けてその考え方を理解したり、話し合いを通して共感したりするとともに、自分の意見をまわりの人にわかりやすく伝えることができる。 ・実社会や実生活を分析的に捉え、身の回りにある課題に気付くとともに、その解決に向けて必要となる情報や資料を収集し解決に向けた糸口を見つけることができる。 ・実社会や実生活の中から課題を見出し、問いを立てて情報を収集し、整理・分析してまとめ・表現することができる。 ・実社会や実生活の中から課題を見出し、問いを立てて情報を収集し、整理・分析してまとめ・表現することができる。 ・安山して考えをまとめ、表現することができる。 ・実社会や実生活にある問題の背景を探り、手順を踏んで検討を重ね、解決に向けたイディアを分かりやすく表現することができる。 ・他者との関わり中で、主体的・協動のに取り組むとともに、自分の目標を明確にしながら稽極的に問題解決に取り組むことができる。 ・他者との関わり合いの中で、互いのよごや役割を意識しながら新な価値の創造を目指して協働的に課題解決に取り組むことができる。	入門ゼミナール	[課題解決ゼミナール	総合ゼミナール	
総合	・講義や講話を聞いて、自己の既有知識及び他者の既有知識、概念と照合する中で、今までの先入観を壊すような学修をすることができる。 需義や講話を聞いて、問題意識をもち、疑問を持つで学修する中で、今までの先入観を壊すような学修をすることができる。 講義や講話に基づいて関連する情報を集めたり、自己内対話を行う、他者と対話したりなどし、適切なノートティキングができる。 ・講義や講話に基づいて関連する情報を集めたり、疑問点を整理したりする中で、適切なノートティキングができる。 ・講教や講話の基づいて自ら選択した料目の重要性に気づいたり、そこでの知見及び他者からの地検を将来に生かそうとしている。 ・講教や講話の基づいて自ら選択した料目の重要性に気づいたり、孝ばえた疑問点を追求の事で得られた知見を将来に生かそうとしている。	地域で学ぶ 人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動	地域と人間生活 人間理解ワークショップ		
人間	・資料を読解し、疑問を持ってその内容を追究し、必要な資料を探索して研究することができる。 さまざまな人の考え方を学びながら、自分にできることを見極め、積極的に行動するとともに、グループやチームでの協働的な問題解決に取り組むことができる。 ・社会の実態を提え、そこから問題を見つけるとともに、解決に向けて、多様な資料を活用しながら解決に向けた系口を手に入れることができる。 ・自己課題を見つけ、解決に向けて行動するとともに、その過程を省察しつつ論理的に表現することができる。	キャリアデザインとライフプラン リーガルリテラシー ジェンダーリテラシー 子育てと環境 女性と健康 女性の心と身体	食の科学 歴史のなかの女性 芸術を読みとる		
社会	のは、表現することができる。 他名との関わりにおいて課題を見つけ、解決に向けて仲間と一緒に行動するとともに、その適程を仲間とともに省緊し、チームとしての成果を発表することができる。 ・現実の社会における事実の背景を探り、ものごとのプロセスを踏まえた検討ができ、解明した内容に関するレポートができるようになる。 ・自ら費料を収集し、内容を分析するとともに、複数の意見をもとに考察を深め、他名と力を合わせ、通党することができる。 ・他名との関わりの中で費料を収集し、その内容を仲間とともに分析するとともに、多様な意見を踏まえた考察を深め、新たた治衆課題を創造できる。 ・捉えた社会の姿をもとに、そこに至る過程に光をあてて、将米に向けての解決のためのビジョンを構想したり、仲間とともに実践的に解決策を考えることができる。	グローバル社会 ネットワーク社会 共生社会入門 多様性と倫理 持続可能な社会 くらしのなかの日本国憲法 ボランティア論	災害と社会 21世紀型の教育		
体保 育健		身体運動 I 身体運動 Ⅱ			



人間生活学部

単位互換性大学との

い 教職課程 「 加 諸 課 程 「 畑 単位認定

学部 教育人文

学部 人間生活

一学修 日 資格販得

Ш

人文

諸課程

VI

X 大学

設

IIX Q &



人間生活学部(N) 共通科目教育課程 2024年度生

	科 E] 群	卒業に必要な単位数
		必修	9 単位
共	通	選択必修	6 単位
		選 択	7 単位以上
	Ē	t	22単位以上

- ●必修科目9単位履修すること
- ●選択必修科目6単位履修すること。<u>6単位を超えた分は</u> 選択科目の単位となる。
- ■選択科目7単位以上履修すること
- ●合計22単位以上履修すること

▶履修期欄に「前・後」と記載がある科目は、配当年次のいずれかを履修すればよい。

			単位数						(⊚…	重要な	目的と		につく	、刀 ○…主	な目的	として	こし
科目区分	授業科目	必修	選択必修	選択	授業形態	履 修 期	配 当 年 次		把握・資料探索	決への模索・省察自己課題発見・解	協働的課題追究 資料収集·資料分析·	解決・協働的学修対話的検討・自力	への試行・チームとしての省級協働的課題発見・協働的解治	分析・協働的考察協働的資料収集・	用力・課題解決 実態把握・資料活	プレゼンテーション力実態と背景の把握・	の村言・「抜体的 ラ配合角」
ぜ	入門ゼミナール	2			講義	前	1		0	0	0	0	0	0	0		
ゼミナー	課題発見・探求ゼミナール			1	演習	後	1.2.3.4		0	0	0	0	0		0	0	Ι
	課題解決ゼミナール			2	演習	前·後	2 · 3				0	0	0	0	0	0	
ル	総合ゼミナール			2	演習	前·後	3 · 4				0		0	0	0	0	
	地域で学ぶ			2	講義	前·後	1.2.3.4		0	0	0	0			0		
	地域と人間生活	2	<u> </u>		講義	前·後	$2 \cdot 3 \cdot 4$		0	0	0	0	0		0		
	人間関係とコミュニケーション			2	講義	後	1.2.3.4		0	0	0	0	0		0		
合	人間理解ワークショップ		<u> </u>	2	講義		$2 \cdot 3 \cdot 4$		0	0	0	0	0		0	0	ļ.
	総合科目			2	講義		1.2.3.4		0	0	0				0		
	自主社会活動			1	演習		1.2.3.4		0	0	0				0		
	キャリアデザインとライフプラン リーガルリテラシー		2		講義	+	1) 5科目か			0			0	ļ		
	ジェンダーリテラシー		2		講義講義		1	547日		0	0		ļ			0	
			2		講義			2単位以	ļ <u>.</u>		0		ļ				
	子育てと環境 女性と健康		2			前·後	1	上履修	0		ļ		0				
	女性の心と身体		'		講義		$\frac{1}{1 \cdot 2 \cdot 3}$	プ 保育士及び管理栄養士希望者は必修		0	<u> </u>		ļ		<u> </u>		
	食の科学		ļ	2	講義		$2 \cdot 3$	体出工以U 日在本政工作主任は2019		ļ		0	ļ		 	0	
	歴史のなかの女性		ļ	2		前後	$2 \cdot 3$		0		0	0	ļ		<u> </u>		
	芸術を読みとる		ļ	2	講義		$2 \cdot 3$		 O	ļ		<u> </u>	ļ				
	グローバル社会		2		講義)			0	0					t
	ネットワーク社会		2		講義		1	5科目か			ļ <u></u>	<u>O</u>				 O	
	共生社会入門		2		講義	+		ら1科目		0				0		<u></u>	+-
	多様性と倫理		2		講義		1	□ 2単位以	0	I	0		ļ <u>~</u>	<u>-</u>			+
社	持続可能な社会		2		+	前後	1	上履修	0		<u> </u>					0	+
	くらしのなかの日本国憲法			2	講義			カ 対員免許取得希望者は必修	0		ļ						
	ボランティア論		ļ	2	講義		$1 \cdot 2 \cdot 3$	公共儿时代刊 1年日1827 [9]	<u>o</u>		0		ļ <u>.</u>	0			
	災害と社会			2	講義		2 · 3			0	ļ <u>~</u>			<u>~</u>	0		+
	21世紀型の教育			2	講義		2 · 3			0	0				ļ <u>~</u>		+-
休促	身体運動I		1		実技	前	1.2.3.4	1科目1単位履修「身体運動 I」を履修することが望まし		0	0	0	ŏ	0	0	0	t
体保 育健	身体運動Ⅱ		1		実技		1.2.3.4	1」を服修することが至ましい。教免及び保育士希望者 は2科目2単位履修すること	0	0	0	0	0	0	0	0	+-
	はじめてのデータサイエンス	2	_		講義	-	1	は2行口2年に収得すること					-		<u> </u>		t
式 Ĺ Ċ	情報処理演習 I			1	演習	前	1		0								-
イデー エータ スサ・	情報処理演習Ⅱ			1	演習	後	1.2.3.4								0		-
	英語コミュニケーション演習	1			演習	前·後	1		0	0		0	0				t
	英語 I a		1		演習	前	1	12科目から1科目を選	0	0	0						
	英語 I b		1		演習	後	1	択必修	0	0	0						-
	英語Ⅱ a		1		演習	前	$2 \cdot 3 \cdot 4$	ただし、日本語を母国 語としない者は、「総	0	0	0			0	0	0	T
外	英語 Ⅱ b		1		演習	後	$2 \cdot 3 \cdot 4$	合日本語 I a 「総合	0	0	0			0	0	0	
国語	中国語 I a		1		演習	前	1	日本語 I b」を履修す	0	0		0	0	0			
	中国語 I b		1		演習		1	ること 教員免許取得希望者	0	0		0	0	0			
(基礎科目	中国語 II a		1		演習	前	$2 \cdot 3 \cdot 4$	教員免許取得希望者は、「英語 I a」「英語 I b」、「中国語 I a」「中	0	0		0	0	0			
科	中国語 II b		1		演習	後	$2 \cdot 3 \cdot 4$	Ib」、「中国語Ia」「中	0	0		0	0	0			1
병	朝鮮語Ia		1		演習	前	1	国語 l b 」、 朝鮮語 l	0	0		0	0	0			
	朝鮮語Ib		1		演習	後	1	a」「朝鮮語 I b」、「フ ランス語 I a 」「フラン	0	0		0	0	0			1.
	フランス語 I a		1		演習	前	1	ス語 Ib」の いずれ	0	0		0	0	0			1.
	フランス語 I b		1		演習		1	か2科目2単位を履修	0	0		0	0	0	ļ		1.
	海外語学研修			1	実習	前	$1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4$				0			0		0	

修

Л	긤
٠,	7
K	a
' -j'	Ο,
ッ	
ク	

			単位数	女 文					(⊚…	重要な	目的と		につく	.力 ○…主	な目的	として	(いる)
科目区分	授業科目	必修	選択必修	選択	授業形態	修期	配 当 年 次	考	一把握・資料探索	決への模索・省察自己課題発見・解	協働的課題追究 資料収集·資料分析·	解決・協働的学修対話的検討・自力	への試行・チームとしての省察 協働的課題発見・協働的解決	分析・協働的考察協働的資料収集・	用力・課題解決実態把握・資料活	プレゼンテーションカ実態と背景の把握・	の検討・協働的、実践的解決社会的課題の析出・解決方策
	実践英語 a			1	演習	前	$2 \cdot 3 \cdot 4$		0	0		0	0				
	実践英語 b			1	演習	後	$2 \cdot 3 \cdot 4$		0	0		0	0				
外	アドバンスト・リスニング		ļ	2	講義	後	1.2.3.4		0	0		0	0		0		
外国語目的別科目	アドバンスト・リーディング			2	講義	前·後	1.2.3.4		0	0		0	0		0		
	アドバンスト・ライティング		ļ	2	講義	前·後	1.2.3.4		0	0		0	0			0	
的	ビジネス英語			2	講義	後	$2 \cdot 3 \cdot 4$		0	0		0	0			0	
別料	映画・ドラマ英語		ļ	2	講義	前·後	2 · 3 · 4		0	0		0	ļ <u>.</u>				
旨	メディア英語		ļ	2	講義講義	前	$\frac{2 \cdot 3 \cdot 4}{1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4}$		0	0		0	<u> </u>		0	0	
	TOEIC対策講座 中国語試験対策講座		ļ	2	講義	後前	1.2.3.4			<u> </u>							
	日本語検定対策講座		ļ	2	講義	前・後	1.2.3.4						ļ		0	0	0
	総合日本語 I a			1	演習	前前		※日本語を母	0	0			0				
	総合日本語Ib			1	演習	後	1	国語としない					0				
	総合日本語 II a			1	演習	前	9	者は、「総合	<u>o</u>								
	総合日本語 II b			1	演習	後	2	□ 日本語 I a 」□ 「総 合 日 本		0							
	総合日本語Ⅲ a			1	演習	前	3 · 4	語Ib」を履	<u>.</u>								
	総合日本語Ⅲ b			1	演習	後	3 · 4	修すること	0	0			0				
Ħ	日本語表現技術 I			1	演習	前	1.2.3.4	た だ し、 JLPTN1を取		0			<u> </u>				
日 本 語	日本語表現技術Ⅱ			1	演習	後	1.2.3.4	月LPINIを収 得している	0	0			0				
	日本語表現技術Ⅲ			1	演習	前	1.2.3.4	(なければ	<u>.</u>	0			Ö				
(非母語者向)	日本語表現技術Ⅳ			1	演習	後	1.2.3.4	模擬試験)、	0	0			Ö				
与 語	日本語研究A (時事 I)			1	演習	前	1.2.3.4	かつ、教員 が実施する	Ö	Ö			Ö				
署	日本語研究B (時事Ⅱ)			1	演習	前	1.2.3.4	課題をもっ	0	0			0				
	日本語研究 C (ビジネス I)			1	演習	前	1.2.3.4	て話す能力	0	0			Ö				
	日本語研究D(ビジネスⅡ)			1	演習	後	1.2.3.4	と書く能力 がCEFRの	0	0			0				
	日本語研究E (医療・福祉専門)			1	演習	後	1.2.3.4	C2レベルで	0	0			0				
	日本語研究F(人文科学)		ļ	1	演習	後	1.2.3.4	あると判断さ	0	0			0				
	日本語能力試験対策講座 I			1	演習	前	1.2.3.4	れた者は、 他の外国語							0	0	0
	日本語能力試験対策講座 Ⅱ			1	演習	後	1.2.3.4	を選択する							0	0	0
	日本語集中講座			1	演習	前	$1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4$	ことができる。							0	0	0
	キャリアデザイン入門	2			講義	前·後	2	学科ごとに異なる		0	0	0	0	0	0	0	0
	キャリアロールモデル研究			2	講義	後	2										0
	企業に学ぶキャリアデザイ			2	講義	前	2										0
キャリア教育	プロフカニュザー社会出		ļ														
Ŋ	プロアクティブ人材育成 キャリアサポート演習		ļ	2	講義演習	後通	2 3				 			0	0	 	0
教	キャリア基礎力 I		ļ	2	講義		2 · 3			0		0					
育	キャリア基礎力 I キャリア基礎力 II		ļ	2	講義	前後	2 · 3		0				ļ				
	インターンシップ短期		ļ	1	実習	前・後	$\frac{2\cdot 3}{1\cdot 2\cdot 3}$		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	インターンシップ長期		 	2	実習		1 · 2 · 3		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	コマノ ママノノ政州				大日	刊工文	1 2 3					9					

うになっています。

四QQA 畑 我務関連 学びの 教務関連 学びの \bowtie 1 単位認定

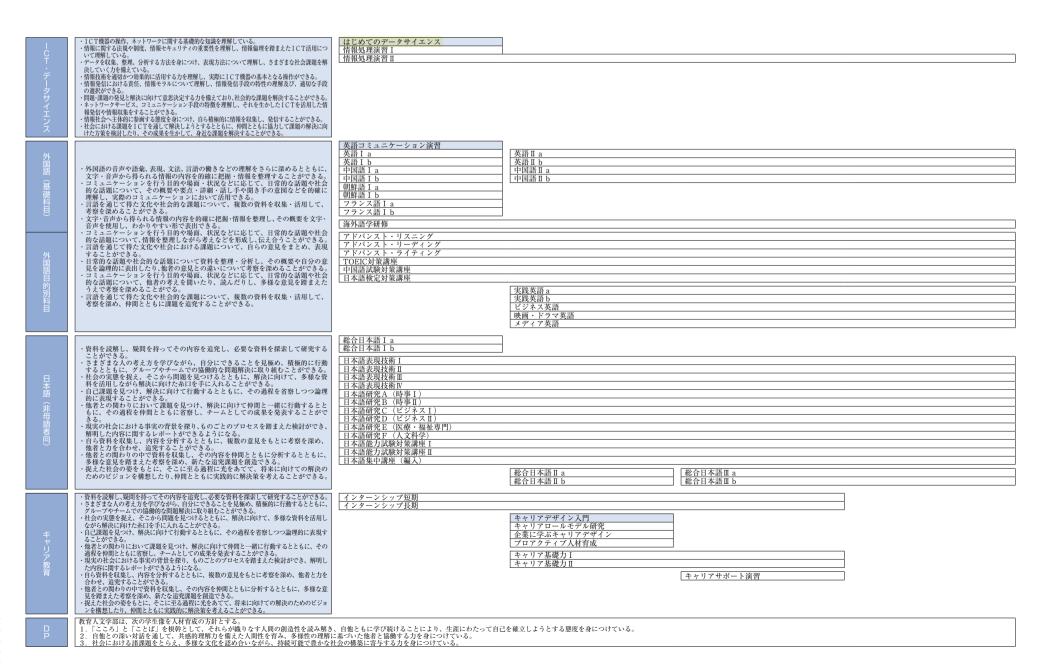
カリキュラムマップでは、各学科の学生が、卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の関連性などがわかるよ

カリキュラムの授業科目間のつながりや年次進行などがわかりますので、履修上の参考にしてください。

共通科目 カリキュラムマップ

→ 必修科目

領域	学生が身につけるべき資質・能力	1 年次	2年次	3年次	4年次
ゼミナール	・文章や資料の意味や意図を理解するとともに、自分の考えを文章や図表などを活用してわかりやすく他者に伝えることができる。 他者の意見に耳を傾けてその考え方を理解したり、話し合いを通して共感したりするとともに、自分の意見をまわりの人にわかりやすく伝えることができる。 ・実社会や実生活を分析的に捉え、身の回りにある課題に気付とともに、その解決に向けて必要となる情報や資料を収集し解決に向けた糸口を見つけることができる。 ・実社会や実生活の中から課題を見出し、問いを立てて情報を収集し、整理・分析してまとめ・表現することができる。 ・実社会や実生活の中から課題を見出し、問いを立てて情報を収集し、整理・分析してまとめ・表現することができる。 ・実社会や実生活のある間題の背景を探り、手順を踏んで検討を重ね、解決に向けたアイディアを分かりやすく表現することができる。 ・性者との関わりやすくま現することができる。 他者との関わりでは、まゆい。協動に取り組むとともに、自分の目標を明確にしながら精極的に問題解決に取り組むことができる。 他者との関わり合いの中で、互いのようを役割を意識しながら新たな価値の創造を目指して協働的に課題解決に取り組むことができる。	入門ゼミナール	[課題解決ゼミナール	総合ゼミナール	
総合	・講義や講話を聞いて、自己の既有知識及び他者の既有知識、概念と照合する中で、今までの先入観を壊すような学修をすることができる。 講義や講話を聞いて、問題意識をもち、疑問を持つて学修する中で、今までの先入観を壊すような学修をすることができる。 講義や講話に基づいて関連する情報を集めたり、自己内対話を行う、他者と対話したりなどし、適切なノートティキングができる。 ・講義や講話に基づいて関連する情報を集めたり、疑問点を整理したりする中で、適切なノートティキングができる。 ・講義や講話に基づいて自ら選択した料目の重要性に気づいたり、そこでの知見及び他者からの地検を将来に生かそうとしている。 ・講義や講話の基づいて自ら選択した料目の重要性に気づいたり、芽ばえた疑問点を追究さる中で得られた知見を将来に生かそうとしている。	地域で学ぶ 人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動	地域と人間生活 人間理解ワークショップ		
人間	・資料を謎解し、疑問を持ってその内容を追究し、必要な資料を探索して研究することができる。 さまざまな人の考え方を学びながら、自分にできることを見極め、積極的に行動するとともに、グループやチームでの協働的な問題解決に取り組むことができる。 ・社会の実態を捉え、そこから問題を見つけるとともに、解決に向けて、多様な資料を活用しながら解決に向けた系口を手に入れることができる。 ・自己課題を見つけ、解決に向けで行動するとともに、その過程を省察しつつ論理的に表現することができる。	キャリアデザインとライフプラン リーガルリテラシー ジェンダーリテラシー 子育てと環境 女性と健康 女性の心と身体	食の科学 歴史のなかの女性 芸術を読みとる		
社会	のは、表現することができる。 他者との関わりにおいて課題を見つけ、解決に向けて仲間と一緒に行動するとともに、その過程を仲間とともに省緊し、チームとしての成果を発表することができる。 ・現実の社会における事実の背景を探り、ものごとのプロセスを踏まえた検討ができ、解明した内容に関するレポートができるようになる。 ・自ら資料を収集し、内容を分析するとともに、複数の意見をもとに多察を深め、他者と力を合わせ、過党することができる。 ・他者との関わりの中で資料を収集し、その内容を仲間とともに分析するとともに、多様な意見を踏まえた考察を深め、新たな治衆課題を創造できる。 ・捉えた社会の姿をもとに、そこに至る過程に光をあてて、将来に向けての解決のためのビジョンを標想したり、仲間とともに実践的に解決策を考えることができる。	グローバル社会 ネットワーク社会 共生社会入門 多様性と倫理 持続可能な社会 くらしのなかの日本国憲法 ボランティア論	災害と社会 21世紀型の教育		
体保 育健		身体運動 I 身体運動 Ⅱ			



教育人文学部

短程 数務関連

X 大学院 知施 設 知 Q Q A

い 教職課程 「 加 諸 課 程 「 畑 単位認定

学部 教育人文

学部 人間生活

1 学修日 資格取得

 \blacksquare

 \mathbb{W} 諸 課

IX

院

XI 施 設



教育人文学部(E) 共通科目教育課程 2024年度生

7	科 E	1 群	必要な単位数
		必修	9 単位
共	通	選択必修	6 単位
		選 択	7 単位以上
	Ē	t	22単位以上

- ●必修科目9単位履修すること
- ●選択必修科目6単位履修すること。6単位を超えた分は 選択科目の単位となる。
- ◎選択科目7単位以上履修すること
- ●合計22単位以上履修すること

▶履修期欄に「前・後|と記載がある科目は、配当年次のいずれかを履修すればよい。

			単位数						(⊚…	重要な	目的と		につく	、力 ○…主	な目的	として	CU:
科目区分	授業科目	必修	選択必修	選択	授業形態	履 修 期	配当年次		· 把握·資料探索 資料読解·問題	決への模索	協働的課題追究 資料収集·資料分析·	金足 さき	「の試行・チームとしての省察協働的課題発見・協働的解決	分析・協働的考察の場合の	用力・課題解決実態把握・資料活	プレゼンテーションカー実態と背景の把握・	_
ゼ	入門ゼミナール	2			講義	前	1		0	0	0	0	0	0	0		
ミナール	課題発見・探求ゼミナール			1	演習	後	1.2.3.4		0	0	0	0	0		0	0	ļ
	課題解決ゼミナール			2	演習	前·後	2.3				0	0	0	0	0	0	
ル	総合ゼミナール			2	演習	前·後	3.4				0		0	0	0	0	┸
	地域で学ぶ		ļ	2	講義	前·後	1.2.3.4		0	0	0	0	ļ		0		1
	地域と人間生活			2	講義	前·後	2.3.4		0	0		0			0		
総合	人間関係とコミュニケーション			2	講義	後	1.2.3.4		0	0		0					ļ
台	人間理解ワークショップ	2	ļ		講義	前·後	2 · 3 · 4		0	0	0	0				0	ļ
	総合科目			2	講義	前·後	1.2.3.4	,	0	0	0				0		ļ
	自主社会活動			1	演習	前·後	1.2.3.4		0	0	0				0		1
	キャリアデザインとライフプラン		2		講義	前·後	1	r = 1 l = 2.			0		ļ	0	ļ		ļ
	リーガルリテラシー		2		講義	前·後	1	5科目か ら1科目		0	0		ļ		ļ	0	ļ
	ジェンダーリテラシー		2		講義	前·後	1	2単位以					ļ <u>.</u>				
	子育てと環境		2		講義	前·後	1	上履修	0		ļ <u>.</u>				ļ <u>.</u>		
間	女性と健康		2		講義	前·後	1	<u> </u>		0			ļ				
	女性の心と身体			2	講義	前·後		保育士希望者は必修		0	ļ	0	ļ		ļ <u>.</u>	0	ļ
	食の科学			2	講義	前·後	2 · 3		0						0		ļ
	歴史のなかの女性			2	講義	前・後	2 · 3			0	<u> </u>	0	ļ				ļ
	芸術を読みとる			2	講義	前·後	2 · 3		0		0						1
	グローバル社会		2		講義	前·後	1	r = 1 l = 2.			0	0	ļ		ļ		ļ
	ネットワーク社会		2		講義	前·後	1	5科目か ら1科目		0			ļ		ļ	0	ļ
	共生社会入門		2		講義	前·後	1	2単位以		0				0	ļ		ļ
2+	多様性と倫理		2		講義	前·後	1	上履修	0		0		ļ				ļ
社 会	持続可能な社会		2		講義	前·後	1	<u> </u>	0				ļ <u>.</u>			0	
	くらしのなかの日本国憲法			2	講義	前・後		教員免許取得希望者は必修	0		ļ <u>.</u>				ļ	ļ	
	ボランティア論			2	講義	前·後	1.2.3		0		0		ļ				ļ
	災害と社会			2	講義	前·後	2 · 3			O.			ļ <u>.</u>		0		ļ
	21世紀型の教育			2	講義	前·後	2 · 3			0	0		0				1
体保 育健	身体運動 I		1		実技	前	1.2.3.4	1科目1単位履修「身体運動 I」を履修することが望まし い。教免及び保育士希望者 は2科目2単位履修すること	0	0	0	0		0	0	0	ļ
	身体運動Ⅱ		1		実技	後	1.2.3.4	い。 教兄及び保育士布望者 は2科目2単位履修すること	0	0	0	0	0	0	0	0	
イデ し	はじめてのデータサイエンス	2	ļ		講義	後	1				<u> </u>		ļ		ļ		
イデー エータ スサ・	情報処理演習I			1	演習	前	1		0								ļ
スサ・	情報処理演習Ⅱ			1	演習	後	1.2.3.4		_			_			0		1
	英語コミュニケーション演習	1			演習	前·後	1		0	0		0					ļ
	英語 I a		1		演習	前	1	12科目から1科目を選	0	0							ļ
	英語 I b		1		演習	後	1	択必修 ただし、日本語を母国	0	<u> </u>	l Ö		ļ		ļ <u>.</u>	ļ <u>.</u>	1
	英語Ⅱ a		1		演習	前	2.3.4	活しし れい出は 「仏人	0	0	0		ļ	0	0	0	
外 国	英語 II b		1		演習	後	2.3.4	日本語Ⅰa」「総合日本	0	0	0		ļ <u>.</u>	0	0		
	中国語Ia		1		演習	前	1	語Ib」を履修すること	<u> </u>	0		0	0	0			
	中国語Ib		1		演習	後	1	教員免許取得希望者	0	0		0	0	0	ļ		4
(基礎科目)	中国語II a		1		演習	前	12 3 4	は、「英語Ia」「英語I	0	<u> </u>		0	<u> O</u>	0			1
科	中国語II b		1		演習	後	2.3.4	b」、「中国語 I a」「中	0	0		0	0	0			1
	朝鮮語Ia		1		演習	前	1	国語Ib」、「朝鮮語Ia」	0	0		0	0	0			
	朝鮮語Ib				演習	後	1	「朝鮮語 I b」、「フラン ス語 I a」「フランス語	<u> </u>	0		0	<u> 0</u>	0			1
	フランス語 I a		1		演習	前	1	Am I a 」 ノリン人前 I b] の いずれか2科	0	0		0	0	0			
	フランス語 I b		1		演習	後	1	目2単位を履修	0	0		0	0	0			
	海外語学研修		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1	実習	前	1.2.3.4			l	0	I	I	0	I	0	

修

XII

			単位数	攵					(⊚…	重要な	目的と	身(してし	につく	.力)…主	な目的	として	いる
科目区分	授業科目	必修	選択必修	選択	授業形態	履 修 期	配当年次	考	把握・資料探索	決への模索・省察自己課題発見・解	協働的課題追究 資料収集·資料分析·	解決・協働的学修対話的検討・自力	への試行・チームとしての省察 協働的課題発見・協働的解決	分析・協働的考察は働的資料収集・	用力・課題解決 実態把握・資料活	プレゼンテーションカ実態と背景の把握・	の検討・協働的、実践的解決を受けません。
	実践英語 a			1	演習	前	2 · 3 · 4		0	0		0	0				
	実践英語 b			1	演習	後	2.3.4		0	0		0	0				
	アドバンスト・リスニング			2	講義	後	1.2.3.4		0	0		0	0		0		
国	アドバンスト・リーディング			2	講義	前·後	1.2.3.4		0	0		0	0		0		
外国語目的別科目	アドバンスト・ライティング			2	講義	前·後	1.2.3.4		0	0		0	0			0	
的的	ビジネス英語			2	講義	後	2.3.4		0	0		0	0			0	
別	映画・ドラマ英語			2	講義	前·後	2.3.4		0	0		0					
좜	メディア英語			2	講義	前	2.3.4		0	0		0	0		0	0	
H	TOEIC対策講座			2	講義	後	1.2.3.4		0	0							
	中国語試験対策講座			2	講義	前	1.2.3.4								0	0	0
	日本語検定対策講座		ļ	2	講義	前·後	1.2.3.4								0	0	0
	総合日本語 I a			1	演習	前	1		0	0			0				
	総合日本語 I b		ļ	1	演習	後	1		0	0			0				
	総合日本語 II a			1	演習	前	2		0	0			0				
	総合日本語 II b		1	1	演習	後	2	※日本語を母国語 としない者は、	0	0			0				
	総合日本語Ⅲ a			1	演習	前	3.4	「総合日本語I	0	0			0				
	総合日本語Ⅲ b		ļ	1	演習	後	3.4	a」「総合日本語	0	0			Ö				
日 本 語	日本語表現技術 I			1	演習	前	1.2.3.4	Ib」を履修す ること	Ö	Ö			Ö				
本	日本語表現技術Ⅱ			1	演習	後	1.2.3.4	ただし、JLPTN	0	Ō			Ō				
	日本語表現技術Ⅲ			1	演習	前	1.2.3.4	1を取得している(なければ模	<u>.</u>	0			Ö				
(非母語者向)	日本語表現技術IV		·	1	演習	後	1.2.3.4	る(なけれは快 擬試験)、かつ、	0	0			Ö				
与 語	日本語研究A(時事I)		·	1	演習	前	1.2.3.4	教員が実施する		0			0				
署	日本語研究B (時事Ⅱ)		ļ	1	演習	前	1.2.3.4	課題をもって話 す能力と書く能	0	0			0				
向	日本語研究 C (ビジネス I)		·	1	演習	前	1.2.3.4	力がCEFRのC2	<u>Ö</u>	Ö			<u> </u>				
	日本語研究 D (ビジネス Ⅱ)		ļ	1	演習	後	1.2.3.4	レベルであると	<u>.</u>	0			0				
	日本語研究E (医療・福祉専門)		·	1	演習	後	1.2.3.4	判断された者は、 他の外国語を選	<u>o</u>								
	日本語研究 F (人文科学)		ļ	1	演習	後	1.2.3.4	択することがで	<u>.</u>				0				
	日本語能力試験対策講座I		·	1	演習	前	1.2.3.4	きる。	<u></u>	ļ			<u> </u>		0	0	C
	日本語能力試験対策講座Ⅱ		ļ	1	演習	後	1.2.3.4										
	日本語集中講座		ļ	1	演習	前	1.2.3.4								<u> </u>		
	キャリアデザイン入門	2		1	講義	前・後	2	学科ごとに異なる		0	0	0	0	0	0	0	0
	キャリアロールモデル研究		ļ	2	講義		2	子件してに共なる		<u> </u>		<u> </u>	ļ <u>U</u>	0			
	企業に学ぶキャリアデザイン		 	2	講義	後前	2										
	企業に子がヤヤリノテザイン プロアクティブ人材育成		ļ	2	講義	後	2										C
<u>ن</u>			ļ	$\frac{2}{2}$													
キャリア教育	キャリアサポート演習		ļ	I	演習	通	3				0	0	ļ	0	0	0	0
教育	キャリア基礎力I		ļ	2	講義	前	2.3		0		<u> </u>						
	キャリア基礎力 II		ļ	2	講義	後	2.3		0	0	0						
	インターンシップ短期		ļ	1	実習	前・後	1.2.3		<u> </u>	0	0	0	0	0	0	0	0
	インターンシップ長期			2	実習	前·後	1.2.3		0	0	0	0	0	0	0	0	0

社会情報デザイン学部

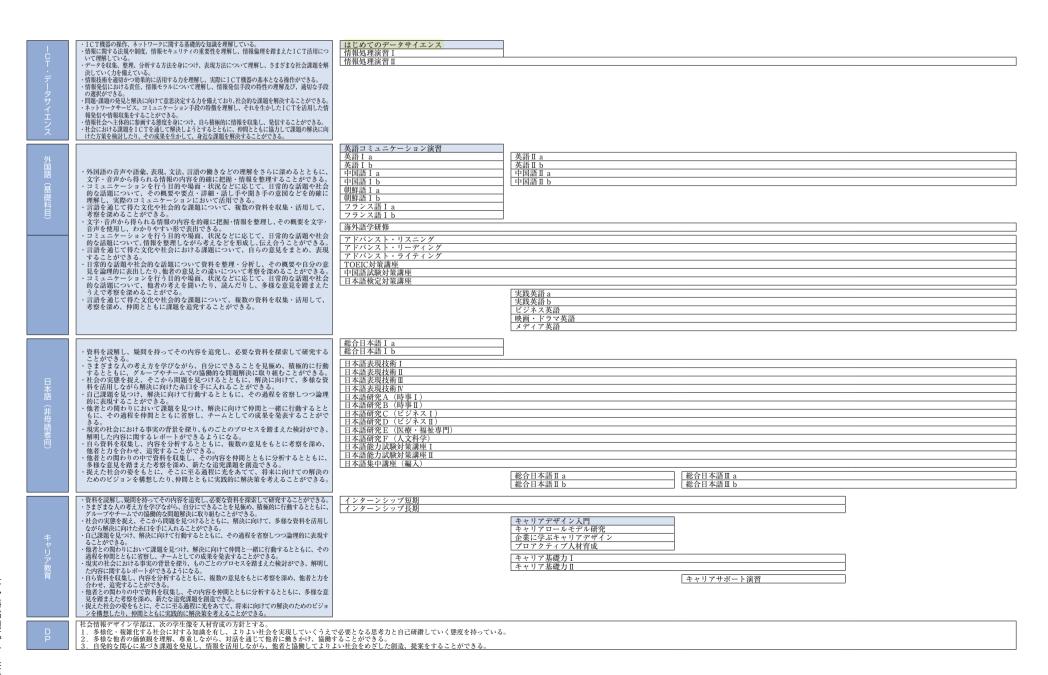
カリキュラムマップでは、各学科の学生が、卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の関連性などがわかるよ うになっています。

カリキュラムの授業科目間のつながりや年次進行などがわかりますので、履修上の参考にしてください。

共通科目 カリキュラムマップ

→ 必修科目

領域	学生が身につけるべき資質・能力	1年次	2年次	3年次	4年次
ゼミナール	・文章や資料の意味や意図を理解するとともに、自分の考えを文章や図表などを活用してわかりやすく他者に伝えることができる。 他名の意見に耳を傾けてその考え方を理解したり、話し合いを通して共感したりするとともに、自分の意見をまわりの人にわかりやすく伝えることができる。 ・実社会や実生活を分析的に規え、身の回りにある課題に気付くとともに、その解決に向けて必要となる情報や資料を収集し解決に向けた糸口を見つけることができる。 ・実社会や実生活の中から課題を見出し、問いを立てて情報を収集し、整理・分析してまとめ・表現することができる。 ・場合とやまとめ・表現することができる。 ・場合との関わりであると表現することができる。 ・他者との関わり中で、主体的・路崎的に取り組むとともに、自分の目標を明確にしながら積極的に問題解決に取り組むことができる。 ・他者との関わり中で、互いのようや役割を意識しながら新たな価値の創造を目指して協働的に関題解決に取り組むことができる。 ・他者との関わりやで、まいのようとのできる。 ・他者との関わりが表現することができる。 ・他者との関わりを対象を検討するとともに、関係者の意見を取り入れながら異なる課題とながら解決策を検討するとともに、関係者の意見を取り入れながら更なる課題を見出し、その解決策を検討するとともに、関係者の意見を取り入れながら更なる課題を見出し、その解決策を検討するとともに、関係者の意見を取り入れながら更なる課題を見出し、その解決策を機能して探していくことができる。	入門ゼミナール	[課題解決ゼミナール	総合ゼミナール	
総合	・講義や講話を聞いて、自己の既有知識及び他者の既有知識、概念と照合する中で、今までの先入観を壊すような学修をすることができる。 ・講義や講話を聞いて、問題意識をもち、疑問を持って学修する中で、今までの先 入観を壊すような学修をすることができる。 ・講義や講話に基づいて関連する情報を集めたり、自己内対話を行う、他者と対話 したりなどし、適切なノートテイキングができる。 ・講義や講話に基づいて関連する情報を集めたり、疑問点を整理したりする中で、 適切なノートテイキングができる。 ・講義や講話の基づいて自ら選択した料目の重要性に気づいたり、そこでの知見及 び他者からの地検を将来に生かそうとしている。 ・講義や講話の基づいて自ら選択した料目の重要性に気づいたり、芽ばえた疑問点 を追究する中で得られた知見を得来に生かそうとしている。	地域で学ぶ 人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動	地域と人間生活 人間理解ワークショップ		
人間	・資料を談解し、疑問を持ってその内容を追究し、必要な資料を探索して研究することができる。 こまざまな人の考え方を学びながら、自分にできることを見極め、積極的に行動するとともに、グループやチームで心筋筋的な問題解決に取り組むことができる。 ・社会の実態を捉え、そこから問題を見つけるとともに、解決に向けて、多様な資料を活用しながら解決に向けた糸口を手に入れることができる。 ・自己課題を見つけ、解決に向けて行動するとともに、その過程を省察しつつ論理的に表現することができる。	キャリアデザインとライフプラン リーガルリテラシー ジェンダーリテラシー 子育でと環境 女性と健康	食の科学 歴史のなかの女性 芸術を読みとる		
社会	・他者との関わりにおいて課題を見つけ、解決に向けて仲間と一緒に行動するとともに、その適程を仲間とともに省祭し、チームとしての成果を発表することができる。 ・現実の社会における事実の背景を探り、ものごとのプロセスを踏まえた検討ができ、解明した内容に関するレポートができるようになつ。 ・自ら資料を収集し、内容を分析するとともに、複数の意見をもとに考察を深め、他者と力を合わせ、追究することができる。 ・他者との関わりの中で資料を収集し、その均等を仲間とともに分析するとともに、多様な意見を踏まえた考察を深め、新たな追求課題を創造できる。 ・提えた社会の姿をもとに、そこに至る過程に光をあてて、将来に向けての解決のためのビジョンを構想したり、仲間とともに実践的に解決策を考えることができる。	グローバル社会 ネットワーク社会 共生社会人門 多様性と倫理 持続可能な社会 くボランティア論	災害と社会 21世紀型の教育		
体保 育健		身体運動 I 身体運動 Ⅱ			



ハンドブック学びの

ス大学院 刃施 設 畑GSA 畑教務関連

切数職課程 如 諸 課 程 如 単位認定

アサイン学部 社会情報

2 教育人文

1 学修 日 資格取得 四 人間生活

 \blacksquare

人文

Ⅷ諸課程

大学院

IX Q & A



社会情報デザイン学部 (S) 共通科目教育課程 2024年度生

	科目	1 群	卒業に必要な単位数
		必修	7 単位
共	通	選択必修	8 単位
		選 択	7 単位以上
	Ē	t	22単位以上

- ●必修科目7単位履修すること
- ●選択必修科目8単位履修すること。 6単位を超えた分は 選択科目の単位となる。
- ◎選択科目7単位以上履修すること
- ●合計22単位以上履修すること

▶履修期欄に「前・後」と記載がある科目は、配当年次のいずれかを履修すればよい。

			単位数						(⊚…	重要な	相的と		につく いる(な目的	として	こしり
科目区分	授業科目	必修	選択必修	選択	授業形態		配当年次		把握・資料探索	決への模索・省察自己課題発見・解	協働的課題追究 資料収集·資料分析·	解決・協働的学修対話的検討・自力	への試行・チームとしての省察協働的課題発見・協働的解決	分析・協働的考察協働的資料収集・	用力・課題解決実態把握・資料活	プレゼンテーション力実態と背景の把握・	の検討・協働的、実践的解決
ゼ	入門ゼミナール	2			講義	前	1		0	0	0	0	0	0	0		Т
ゼミナ	課題発見・探求ゼミナール			1	演習	後	1.2.3.4		0	0	0	0	0		0	0	
T 1	課題解決ゼミナール			2	演習	前·後	2 · 3				0	0	0	0	Ö	0	1
ル	総合ゼミナール			2	演習	前・後	3 · 4				0		0	0	0	0	1
	地域で学ぶ			2	講義	前・後	1.2.3.4		0	0	Õ	0	_		Ō		T
	地域と人間生活			2	講義	前・後	2.3.4		0	0	0	0			0		
	人間関係とコミュニケーション			2	講義	後	1.2.3.4		0	Ö	0	<u> </u>	0		0		
	人間理解ワークショップ		ļ	2	講義	前・後	2.3.4		0	Ö		Ö			0	0	
	総合科目			2	講義	前・後	1.2.3.4		0	0	10		ļ <u>~</u>		0	ļ <u>~</u>	
	自主社会活動			1	演習	前・後	1.2.3.4			<u> </u>	10		·····		- O		
	キャリアデザインとライフプラン		2	1	講義	前・後	1	1			0			0			╁
	リーガルリテラシー		2		講義	前・後	1	- 41 - 1		0						0	
	ジェンダーリテラシー		2		講義	前・後	1	5科目から 1科目2単		ļ <u>У</u>						ļ <u>У</u>	
	子育てと環境		2		講義	前・後	1	位以上履修			<u> </u>						
							·	12.5/12/12/19	<u></u>		 		<u> O</u>				
	女性と健康		2		講義	前・後	1 1 2 2	.)		0			ļ		0	ļ <u>.</u>	
	女性の心と身体		ļ	2	講義	前・後	1.2.3		ļ <u>.</u>	<u> </u>	ļ	0	ļ		ļ <u>.</u>		
	食の科学			2	講義	前・後	2.3		0	ļ <u>.</u>	ļ <u>.</u>						ļ
	歴史のなかの女性		ļ	2	講義	前・後	2.3			0	0	0	ļ		ļ	ļ	ļ
	芸術を読みとる			2	講義	前・後	2.3		0		0						╄
	グローバル社会		2		講義	前・後	1				0	0					ļ
	ネットワーク社会		2		講義	前·後	1 1	5科目から		0	ļ		ļ <u>.</u>		ļ		ļ
	共生社会入門		2		講義	前·後	1	1科目2単		0				0			ļ
社	多様性と倫理		2		講義	前·後	1	位以上履修	0		0						
会	持続可能な社会		2		講義	前·後	1	<u>)</u>	0				ļ			0	ļ
	くらしのなかの日本国憲法		<u> </u>	2	講義	前·後	1.2.3		0	ļ	ļ		0		ļ	ļ	ļ
	ボランティア論			2	講義	前·後	1.2.3		0		0			0			<u> </u>
	災害と社会		<u> </u>	2	講義	前·後	2.3			0					0		ļ.,
	21世紀型の教育			2	講義	前·後	2.3			0	0		0				
体保 育健	身体運動 I		1		実技	前	1.2.3.4	2科目から1科	0	0	0	0	0	0	0	0	
育健	身体運動Ⅱ		1		実技	後	1.2.3.4	∫目を選択必修	0	0	0	0	0	0	0	0	
、サデー	はじめてのデータサイエンス	2			講義	後	1										
ンサデー ンイト スイス	情報処理演習 I			1	演習	前	1		0								
ヘエタ!	情報処理演習 Ⅱ			1	演習	後	1.2.3.4								0		
	英語コミュニケーション演習	1			演習	前·後	1		0	0		0	0				Г
	英語 I a		1		演習	前	1	12科目から1科目を	0	0	0						1
	英語 I b		1		演習	後	1	選択必修	0	Ö							-
	英語 II a		1		演習	前	2.3.4	ただし、日本語を 母国語としない者	0	Ö	Ŏ		ļ	0	0	0	-
外 国	英語Ⅱ b		1		演習	後	2.3.4	は、「総合日本語 I	0	Ö	Ö		İ	Ö	0	Ö	-
	中国語Ia		1		演習	前	1	a」「総合日本語 I	0	0		0		Ö			
	中国語 I b		1		演習	後	1	b」を履修すること	Ö	0		0	Ö	0			1
(基礎科目)	中国語 II a		1		演習	前	2.3.4	教員免許取得希望者 は、「英語 I a」「英語	0	0		Ö	0	Ö			
科	中国語 II b				演習	後	2.3.4	は、「英語 I a」「英語	Ö	0		Ö	0	0			
Ë	朝鮮語Ia		1		演習	前	1	I b J 「中国語 I a」「中国語 I b」」「中国語 I b」」「朝鮮語 I	0	0		0	0	Ö			+
	朝鮮語Ⅰb		1		演習	後	1	■ a 朝鮮語 b 、 7	0	0		0		0			-
	フランス語 I a		1		演習	前	1	ランス語 [a] 「フラン	0	0		0		<u> </u>			-
	フランス語Ib		1		演習	後	1	ス語 I b」のいずれか 2科目2単位を履修	0	Ö		0	0	0			-
			. 1	1	(央日	1久	1 1	/ 你日/里似ケ腹酸					1 ()				1

Χ

施

/\	브
$\frac{1}{2}$	7
K	σ
Ť	
ッ	
ク	

科目区分 授業科目	分析・協働的考察開力・課題解決に関係が	実態把握・資料活実態と背景の把握・	が検討・協働の
実践英語 a 1 演習 前 2·3·4 ○ ○ ○ 実践英語 b 1 演習 後 2·3·4 ○ ○ ○ アドバンスト・リスニング 2 議義 後 1·2·3·4	察・湯	科力握	的、実践的解決析出・解決方策
アドバンスト・リスニング 2 講義 後 1.934			
アドバンスト・リスニング 2 講義 後 1:2:3:4 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			
Tドバンスト・リーディング 2 講義 前・後 1:2:3:4 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	0		
語 アドバンスト・ライティング 2 講義 前・後 1:234 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	0		
Eシネス英語 2 講義 後 2·3·4 映画・ドラマ英語 2 講義 前・後 2·3·4 科 スディア拡張 2 講義 前 2.3.4		0	
別 映画・トプマ央語 2 講義 前・俊 2·3·4 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			
TOEIC対策講座			
TOETCA 東海至	0		
日本語検定対策講座 2 講義 前·後 1·2·3·4			
			+
総合日本語 I a			
総合日本語Ⅱ a 1 演習 前 2 は、「総合日 ○ ○			
総合日本語 II b			
日本語表現技術 I 1 演習 前 1:2:3:4 た だ し、 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			
語 日本的表現技術 1 1 横目 接 1737年 程 ている 〇 〇 一 〇			
日本語表現技術Ⅲ 1 演習 前 1·2·3·4 (なければ模 ○ ○ ○			
日本語表現技術Ⅲ			
日本語研究A (時事 I) 1 演習 前 1·2·3·4 2、教員が実 0 0 1 2·3·4 2・数員が実 0 0 0 0 0 0 0 0 0			
音 日本語研究B (時事Ⅱ) 1 演習 前 1·2·3·4 もって話す能 ○			
日本品別先に(ピンネスエ) 1 横目 前 12374 力と書く能力 〇 〇 一 〇			
日本語研究D(ビジネスⅡ)			
と判断された			
日本語研究 F (人文科字)	0	0 0	0
日本語能力試験対策講座 I 1 演習 後 1·23·4 することがで			
日本語集中講座 1 演習 前 1:23:4 きる。			
キャリアデザイン入門 2 講義 後 2 ○ ○ ○ ○	0 0		0
キャリアロールモデル研究 2 講義 後 2)			Ö
A 3/P - 3/2			0
+ 企業に字ぶキャリアデザイン 2 講義 前 2 プロアクティブ人材育成 2 講義 後 2 8 科目15単 位の中から ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			0
サイン キャリアサポート演習 2 演習 通 3 位の中から ○ ○ ○ ○ ○	0 0	0 0	0
数 キャリア基礎力 I 2 講義 前 2·3 2単位以上 ◎ ○ ○			
「「ファ 生死力量」 日 時報 次 日 日			
インターンシップ短期 1 実習 前·後 1·2·3 ○ ○ ○ ○ ○ ○	0 0		0
インターンシップ長期 2 実習 前・後 1·2·3 J ○ ○ ○ ○ ○	0 0		0

令和6年度 2024

共通科目『総合科目』について

総合科目は、経験豊富な担当教員、または学外の企業、団体、有志などの協力を得て、特定の題目、特に社会の動向と連動するような課題や問題を取り上げます。授業では特定の専門分野に限ることなく、共通科目が扱う領域を総合的に、かつ自由に、創意的に展開される科目です。

総合科目は様々な講座が開講されています。下記の一覧を参照ください。

(履修登録画面には「総合科目(登録上の科目名)」という形で表示されています。

- ① 受講したい学生は、前期または後期の履修登録期間内に UNIVERSAL PASSPORT にて履修登録してください。 過去に「総合科目」を履修した学生は、同じ「**登録上の科目名**」の授業を繰り返し受講することはできません。
- ② 詳しい講義内容は、UNIVERSAL PASSPORT のシラバスで確認してください。学外での活動を含む講義もあります。
- ③ 授業によって人数制限を設ける場合があります。受講を希望する場合は初回の授業に出席してください。

V.					A
開講	曜時	登録上の科目名 表示名:「総合科目(登録上の科目名)」	担当教員	対象学年	備考
前期後期	集中	はじめてのデータサイエンス	安達 一寿中村健太郎	2·3·4	過去2年間(2022・2023)開講 ※2024入学生・共通科目「ICT・データサイエンス」領域の「はじめての データサイエンス」と同時開講のため、1年生は受講できません。
7	月4	技術が変える私たちの未来	瀬谷崎裕之	1.2.3.4	過去 1 年間(2023)開講
	月5 *********************************	いちから学ぶ nutrition science (科学的な考え方を学ぼう)	神山 真澄	1.2.3.4	過去 2 年間(2022・2023) ※2022 年度に「一から学ぶ nutrition science」を受講した学生は 履修できません。
前期	火1	和食文化概論	土井 善晴 (伊藤 美穂)	1.2.3.4	過去 5 年間(2019~2023)開講
	水1	化及义化保证	土井 善晴 (草野 美保)	1.2.3.4	週去 5 年间(2019~2023) 無講』
7	火 4	家族とライフステージ論 (未来の家族とキャリア形成)	狩野 浩二	1.2.3.4	過去 1 年間(2023)開講
	金 4	「たちかひ塾」たちてかひある人になる	綿井 雅康 安達 満	1.2.3.4	新規科目
K	月4 ニュースを考える (ウクライナ戦争からアイドル問題を		大石 裕	1.2.3.4	新規科目
\mathcal{M}	火3	「なりたい自分になる授業 2024」	石山 隆之	1.2.3.4	新規科目
後期	水3	金融リテラシー	松本 晃子	1.2.3.4	新規科目 ※社会情報デザイン学科2·3·4年 開講科目と同時開講のため、社デ 2·3·4年生は受講できません。
	金3	中山間地域に学ぶ (ヒトと食と暮らし)	狩野 浩二	1-2-3-4	過去 4 年間(2018~2021)開講

お問い合わせ先:各担当教員 または 教務部教務課

令和 6 年度 2024

共通科目『総合科目』について

総合科目は、経験豊富な担当教員、または学外の企業、団体、有志などの協力を得て、特定の題目、特に社会の動向と連動するような課題や問題を取り上げます。授業では特定の専門分野に限ることなく、共通科目が扱う領域を総合的に、かつ自由に、創意的に展開される科目です。

総合科目は様々な講座が開講されています。下記の一覧を参照ください。

(履修登録画面には「総合科目(登録上の科目名)」という形で表示されています。

- ① 受講したい学生は、前期または後期の履修登録期間内に UNIVERSAL PASSPORT にて履修登録してください。 過去に「総合科目」を履修した学生は、同じ「**登録上の科目名**」の授業を繰り返し受講することはできません。
- ② 詳しい講義内容は、UNIVERSAL PASSPORT のシラバスで確認してください。学外での活動を含む講義もあります。
- ③ 授業によって人数制限を設ける場合があります。受講を希望する場合は初回の授業に出席してください。

	開講	曜時	登録上の科目名 表示名:「総合科目(登録上の科目名)」	担当教員	対象学年	備考
	前期 後期	集中	はじめてのデータサイエンス	安達 一寿中村健太郎	2·3·4	過去2年間(2022・2023)開講 ※2024入学生・共通科目「ICT・データサイエンス」領域の「はじめてのデータサイエンス」と同時開講のため、1年生は受講できません。
١		月4	ニュースを考える (ウクライナ戦争からアイドル問題まで)	大石 裕	1.2.3.4	新規科目
		火3	「なりたい自分になる授業 2024」	石山 隆之	1.2.3.4	新規科目
1	後期	水3	金融リテラシー	松本 晃子	1.2.3.4	新規科目 ※社会情報デザイン学科2·3·4年 開講科目と同時開講のため、社デ 2·3·4年生は受講できません。
h	6	金 4	中山間地域に学ぶ(ヒトと食と暮らし)	狩野 浩二	1.2.3.4	過去 4 年間(2018~2021)開講



お問い合わせ先:各担当教員 または 教務部教務課

総合科目(はじめてのデータサイエンス)

ーデジタル社会で必要となるAI・データサイエンスに関する基礎的な知識を習得し、 日常や仕事で使いこなすことが出来るようになろう一 データサイエンスをはじめて 学ぶ人に 最適な講座です。 **履修していない人は、是非、 受講しましょう!!**

世の中には膨大なデータが存在し、それらのデータを必要な形式で収集、傾向などを分析、日常やビジネスでの課題解決に活用されています。

これからの社会では、文系・理系関係なく、大学生のうちに、AI・データサイエンスの知識・スキルを学び、素養(デジタル社会の読み・書き・そろばん)を身に付けておく必要があります。<u>就職活動の際にもこれらの知識は</u>

【科目の特徴】

▼データサイエンス・AIについての入門科目

必要です。ぜひ、皆さん履修し、理解を深めましょう。

▼2~4年生(前期・後期) ※前期/後期それぞれ最大500名まで。

(2024年度から、1年生は「はじめてのデータサイエンス」として必修化)

- ▼e-Learningを活用したフルオンデマンド型の授業、受講する曜日・時限は 自ら計画を立てて受講できます!(土日、夜でも受講可能!!)
- ▼就職活動や今後のキャリアに役立つ知識を学ぶことができる!
- ▼最近起きたAI、データサイエンス関連のTOPICも掲載。
- ▼履修希望者は、必ず履修登録をしてください。(前・後期とも集中欄)

【2023年度 受講者の感想】

- ・今まで知らなかったデータサイエンスのこと、AIのことを知ることができて、とても有意義だった。
- ・自分で好きな時間に勉強できてやりやすかった。(最終アンケートより)

お問合せ先:教務部教務課(7号館2階) kyoumu@jumonji-u.ac.jp/048-477-0929

「AI」や「データ」が、日常やビジネスで活用されていることを知っていますか?

<「AI Iや「データ」が活用されている一例>

金融

- ・ロボアドバイザー
- ・信用スコア

交通

- •渋滞情報
- •自動運転



- <u>教育</u> ・個別教材
- ・学習管理ロボ

スポーツ

・ダイナミックプライシング



医療健康

- □ボ診断
- 遠隔医療

小売

- ·電子決済
- ·自動発注



農林水産

- ・無人農機
- ・ドローン

不動産

- ・物件マッチング
- ·価格予測



説明会開催のお知らせ

日時 4月10日(水)12:15~12:45 参加方法 733教室/Live配信

- ※Live配信の詳細は、UNIPAmailでご案内します。
- ※担当教員によるわかりやすい説明付き。

データサイエンスやAIを学ぶのは、大学生の常識!! 質疑応答の時間もあります!

総合科目(はじめてのデータサイエンス)

ーデジタル社会で必要となるAI・データサイエンスに関する基礎的な知識を習得し、 日常や仕事で使いこなすことが出来るようになろうー データサイエンスをはじめて学ぶ人 に 最適な講座です。

履修していない人は、是非、受講し ましょう!!(4年生はラストチャンス)

世の中には膨大なデータが存在し、それらのデータを必要な形式で収集、 傾向などを分析、日常やビジネスでの課題解決に活用されています。

これからの社会では、文系・理系関係なく、大学生のうちに、AI・データ サイエンスの知識・スキルを学び、素養(デジタル社会の読み・書き・そろ ばん)を身に付けておく必要があります。就職活動の際にもこれらの知識 は必要です。ぜひ、皆さん履修し、理解を深めましょう。

【科目の特徴】

- ▼データサイエンス・AIについての入門科目
- ▼全学部対象2~4年生 ※前期/後期それぞれ最大500名まで

2024年度 | 年生は全員必修で受けています。学んでいて当たり前の時代に!

- ▼e-Learningを活用したフルオンデマンド型の授業
- ▼受講する曜日・時限は決まっていません。自ら計画を立てて受講。
- ▼就職活動や今後のキャリアに役立つ知識を学ぶことができる!
- ▼最近起きたAI、データサイエンス関連のTOPICも掲載。
- ▼単位が取得できれば、マイステップ「資格取得状況」で

「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)(仮称)」

を登録することができます!!(令和5年度取得者から)

お問合せ先:教務部教務課(7号館2階) kyoumu@jumonji-u.ac.jp/048-477-0929 履修希望者は、必ず履 修登録をしてください。 (前・後期とも集中欄)

「AI」や「データ」が、日常やビジネスで 活用されていることを知っていますか?

<「AI Iや「データ」が活用されている一例>

金融

- ・ロボアドバイザー
- 信用スコア

交通

- •渋滞情報
- 自動運転



医療健康

- ·学習管理口ボ

スポーツ

教育

•個別教材

・ダイナミックプ ライシング



- ・ロボ診断
- •遠隔医療

小売

- •雷子決済
- •自動発注



農林水産

- •無人農機
- ・ドローン

不動産

- 物件マッチング
- •価格予測





はじめはデータサイエンスとはどんなこ となのか、理解できていなかったが講義 を通してデータサイエンスについて最新 の情報、これからのデータ・AIとの付き 合い方について考えることができた。 (2023年度後期受講者の感想)

> とても受けやすい授業だと感じた。 内容も今後に活かしていきたいと 思えるもので、満足している。 (2023年度後期受講者の感想)